

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 盛岡市社会福祉協議会

目 次

第 1	概 要	
1	事業概要	1
2	決算概要	2
第 2	法人運営	
1	正副会長会議	3
2	理事会	3
3	評議員会	4
4	評議員選任・解任委員会	4
5	監査・出納調査	5
第 3	地域福祉活動の推進	
1	地域福祉活動計画の推進	5
2	地域福祉活動の支援	5
3	地域づくりに向けた支援	8
4	高齢者いきがい活動等の支援	9
5	児童の育成支援	10
6	福祉教育の推進	15
7	障がい者(児)の支援	16
8	ボランティア事業の推進	16
9	福祉団体の育成・支援	18
10	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動への協力	19
11	地区福祉懇談会の開催	20
第 4	生活支援サービスの推進	
1	地域福祉コーディネート活動	21
2	重層的支援体制整備事業	22
3	心配ごと相談	23
4	生活福祉資金等の貸付相談事業	24
5	日常生活自立支援事業	27
6	不利益な取扱いに関する相談受付	29
第 5	在宅福祉サービスの推進	
1	介護保険サービス	29
2	障がい福祉サービス	35
3	地域生活の支援	35
4	地域包括支援センター	37
5	外出の支援	42
第 6	災害への救援活動	
1	「令和 6 年能登半島地震」に係る支援活動	43
2	「酒田市大雨災害」に係る支援活動	43
3	「盛岡市大雨災害」に係る支援活動	43
第 7	福祉活動情報の発信	
1	社会福祉大会の開催	44
2	社会福祉協議会会報「福祉もりおか」の発行	44
3	インターネットを利用した情報発信	45
第 8	総合福祉センターの管理運営	
1	利用実績	45
2	団体別利用件数	46

第 9	職員の育成	47
第 10	組織体制	
1	評議員	50
2	理事・監事	51
3	評議員選任・解任委員	51
4	職員	52

第 1 概 要

1 事業概要

令和 6 年度は、少子高齢化、核家族化の進行に伴い、地域社会とのつながりが希薄化するなど孤立状態になることで課題が複雑化、複合化する状況に加え、長引く物価高騰により住民の課題がさらに深刻化しています。

このような状況の中、盛岡市社会福祉協議会は地域福祉を推進する中核的な組織として、市民や地域及び福祉団体、盛岡市をはじめとした関係機関と連携し、第 2 期地域福祉活動計画の基本理念である『人と人とがつながり共に支え合うまちづくり』に向けて、「6 つの重点項目」を掲げ各種事業に取り組みました。

「地域福祉活動の推進」においては、地区福祉推進会がおこなう住民同士が交流する事業等に支援を行い、支え合いの意識の醸成を図るとともに、高齢者の見守り活動により孤立を防ぎ、安心して地域生活が送れるよう支援を行いました。

また、地域づくり事業（重層的支援体制整備事業）を推進するため、年代や属性を問わず地域で交流できる居場所づくりの整備とその運営に取り組みました。

「ボランティア・市民活動の推進」では、ボランティア情報の提供を行うとともに活動への参加、ボランティア保険の加入促進を図りました。また、市民のボランティア活動への意識醸成のため、初心者向けの養成講座や高校生を対象とした高校生ボランティア講座を開催したほか、小中学校、専門学校、企業等の依頼により、福祉講話や福祉体験学習を実施しました。

「福祉サービスの利用支援」においては、地域福祉コーディネーターが個別の課題解決に対応し、抱えている課題を解きほぐし、それぞれの課題ごとに適切な制度・機関につなげるとともに、その世帯の課題解決に携わる機関、団体等をつなぎ、世帯全体の状況を共有しながら支援をおこないました。

また、福祉、医療、まちづくりのほか様々な分野からアドバイザーとして参加いただく支援体制の下、市と連携して重層的支援体制整備事業を実施し、複数の要因が絡み合い、既存の連携による対応では解決が困難な住民の課題の解決に取り組みました。

そのほか、民生委員や地域住民の協力の下、地域とつながるための取り組みを行うなど、行政機関、関係団体、市民等と連携を図りながら支援ネットワークの一翼を担ってきました。

加えて、地域社会で自立した生活を送れるよう、福祉サービスの情報提供や日常生活自立支援事業の利用促進を図り、認知症高齢者や障がい者等の権利擁護や福祉サービスの利用支援を実施したほか、生活福祉資金貸付事業においては、新型コロナウイルスの影響により特例緊急貸付を受けた世帯へのフォローアップ支援をおこないました。

「介護保険事業サービスの推進」については、各事業所における感染症対策が引き続き必要な状況でありながらも、高齢者等がその能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本位の介護サービスの提供に努めました。

なお、利用者数及び収入の状況は、施設入所等による減少がある一方で、介護職員がサービス向上に努めたことによる増加もあり、介護保険事業全体の収支では、黒字の経営となりました。

「働きやすさと働きがいのある職場づくり」については、衛生委員会を中心とした有給休暇の取得促進のための働きかけや、給与体系の見直し等待遇の改善を行うとともに、職員が安全で安心な環境で働くことができるようコンプライアンスやハラスメントをテーマとした内部研修を実施しました。

「信頼される法人経営」については、組織のガバナンスの強化や第 2 期地域福祉活動計画及び中期経営計画の目標の達成に向けて取り組み、社会福祉法人としての公益性・非営利性や透明性を確保するとともに持続可能な事業運営と採算向上を目指しました。

2 決算概要

(1) 資金収支計算書

事業活動による収支の収入決算額は、予算額に対して 7,737,207 円（1.0％）少ない 732,009,793 円となり、支出決算額は、予算額に対して 13,853,065 円（1.8％）少ない 735,861,935 円となりました。施設整備等による収支の収入決算額は 0 円となり、支出決算額は予算額に対して 250 円少ない 1,465,750 円となりました。その他の活動による収支の収入決算額は、予算額に対して 30,278 円（0.1％）少ない 33,959,722 円となり、支出決算額は予算額に対して 221,580 円（0.8％）少ない 28,119,420 円となりました。

この結果、当期資金収支差額（収入決算額と支出決算額の差）合計は 522,410 円となり、これに前期末支払資金残高 166,337,875 円を加えた 166,860,285 円が当期末支払資金残高（翌年度繰越額）となりました。

(2) 事業活動計算書

サービス活動増減の部の収益は、令和 5 年度に対して 30,934,714 円（4.5％）多い 723,085,579 円となり、費用は 42,976,487 円（6.2％）多い 737,552,216 円となりました。サービス活動外増減の部の収益は、雑収益の増により令和 5 年度に対して 2,321,273 円（220.0％）多い 4,255,113 円となり、費用は 0 円となりました。特別増減の部の収益は、令和 5 年度に対して 1,287,328 円（92.9％）少ない 98,465 円となり、費用は 0 円となりました。

この結果、当期活動増減差額（収益と費用の差）は△10,113,059 円となり、前期繰越活動増減差額 248,138,272 円を加えた当期末繰越活動増減差額は 238,025,213 円となりました。これにその他の積立金取崩額 6,857,793 円と積立額 7,984,628 円の差額となる△1,126,835 円を加えた 236,898,378 円が次期繰越活動増減差額となりました。

(3) 貸借対照表

資産の部について、流動資産は令和 5 年度に対して 37,839,568 円（17.4％）多い 255,135,120 円（うち短期貸付金 494,036 円）となりました。固定資産は、令和 5 年度に対して 24,439,382 円（2.9％）少ない 823,148,689 円となりました。

負債の部について、流動負債は事業未払金の増等により令和 5 年度に対して 39,891,117 円（51.8％）多い 116,899,945 円（うち賞与引当金 29,119,146 円）となりました。固定負債は、令和 5 年度に対して 7,865,579 円（3.2％）少ない 237,625,847 円となりました。

純資産の部については、基金は令和 6 年度末の時価評価により令和 5 年度に対して 58,728 円多い 232,392,041 円となりました。国庫補助金等特別積立金は、令和 5 年度に対して 8,571,021 円（9.6％）少ない 80,433,304 円となりました。その他の積立金は、総合福祉センター補修準備積立金や生活支援体制整備基金積立金への積み立てにより令和 5 年度に対して 1,126,835 円（0.7％）多い 173,634,294 円となりました。

この結果、次期繰越活動増減差額は、令和 5 年度に対して 11,239,894 円（4.5％）少ない 236,898,378 円となりました。

第2 法人運営

1 正副会長会議

	開催年月日	内 容
第1回	令和6年5月27日	第1回理事会に付議する案件について
第2回	8月8日	第4回理事会に付議する案件について
第3回	12月5日	第5回理事会に付議する案件について
第4回	令和7年3月6日	第6回理事会に付議する案件について

2 理事会

	開催年月日	内 容
第1回	令和6年4月30日 (決議の省略)	議案第1号 理事候補者の選定について
		議案第2号 評議員会に関する決議の省略の提案について
第2回	5月1日	議案第3号 会長の選定について
第3回	6月4日	報告第1 寄付金について
		報告第2 令和5年度債券運用について
		報告第3 評議員及び理事を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		報告第4 令和5年度岩手県共同募金会盛岡市共同募金委員会事業報告及び決算について
		議案第4号 経理規程の一部改正について
		議案第5号 令和5年度事業報告について
		議案第6号 令和5年度収支決算について
		議案第7号 第63回盛岡市社会福祉大会の開催について
		議案第8号 評議員選任候補者の推薦について
		議案第9号 評議員選任・解任委員の選任について
		議案第10号 評議員選任・解任委員会の招集について
		議案第11号 評議員会の招集について
第4回	8月22日	報告第5 会長及び常務理事の職務執行状況について
		報告第6 寄付金について
		報告第7 理事を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		報告第8 第63回盛岡市社会福祉大会の開催について
		議案第12号 諸規則の一部改正について
		議案第13号 令和6年度歳末たすけあい運動配分計画について
第5回	12月12日	報告第9 寄付金について
		報告第10 理事を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		報告第11 介護保険サービス事業運営状況について
		報告第12 総合福祉センターの令和7年度運営方針（予定）について

	開催年月日	内 容
		議案第 14 号 令和 6 年度歳末たすけあい運動配分事業の実施について
		議案第 15 号 令和 6 年度第一次補正予算について
		議案第 16 号 理事候補者の選定について
		議案第 17 号 評議員会の招集について
第 6 回	令和 7 年 3 月 17 日	報告第 13 号 会長及び常務理事の職務執行状況について
		報告第 14 号 寄付金について
		報告第 15 号 理事を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		報告第 16 号 令和 6 年度社会福祉法人の運営に係る指導監査について
		議案第 18 号 令和 6 年度第二次補正予算について
		議案第 19 号 令和 7 年度事業計画について
		議案第 20 号 令和 7 年度収支予算について
		議案第 21 号 規則及び規程の一部改正について
		議案第 22 号 令和 7 年度賠償責任保険契約について
		議案第 23 号 令和 7 年度債券運用計画について
		議案第 24 号 評議員会の招集について

3 評議員会

	開催年月日	内 容
第 1 回	令和 6 年 4 月 30 日 (決議の省略)	議案第 1 号 理事の選任について
第 2 回	6 月 25 日	報告第 1 号 令和 5 年度岩手県共同募金会盛岡市共同募金委員会事業報告及び決算について
		報告第 2 号 経理規程の一部改正について
		報告第 3 号 第 63 回盛岡市社会福祉大会の開催について
		議案第 2 号 令和 5 年度事業報告について
		議案第 3 号 令和 5 年度収支決算について
第 3 回	12 月 23 日	報告第 4 号 諸規則の一部改正について
		議案第 4 号 令和 6 年度第一次補正予算について
		議案第 5 号 理事の選任について
第 4 回	令和 7 年 3 月 25 日	報告第 5 号 規則及び規程の一部改正について
		議案第 6 号 令和 6 年度第二次補正予算について
		議案第 7 号 令和 7 年度事業計画について
		議案第 8 号 令和 7 年度収支予算について

4 評議員選任・解任委員会

	開催年月日	内 容
第 1 回	令和 6 年 6 月 12 日	評議員の選任について

5 監査・出納調査

実施年月日	区 分		内 容
令和6年5月20日	決算監査 出納調査	監 事	令和5年度事業及び決算について 令和6年1月～3月分
8月9日	出納調査	監 事	令和6年4月～6月分
11月18日	出納調査	監 事	令和6年7月～9月分
令和7年1月29日	社会福祉法人指導監査	盛岡市	令和6年度社会福祉法人の運営に係る指導監査
2月20日	出納調査	監 事	令和6年10月～12月分

第3 地域福祉活動の推進

1 地域福祉活動計画の推進

第2期地域福祉活動計画（平成28年度～令和7年度）に掲げる各重点項目に基づき、課題への取り組みをおこなった。

2 地域福祉活動の支援

(1) 地区福祉推進会活動の支援

① 地区福祉推進会活動費・事務費の助成

1,687千円

地区福祉推進会が主体的に行う、地域福祉推進のための調査、関係団体・機関との連絡調整、地区住民への福祉啓発活動等に要する活動費及び運営事務費に対して助成した。

〔地区福祉推進会助成基準（1地区福祉推進会当たり）〕

区分	2,000世帯未満	4,000世帯未満	4,000世帯以上
活動費助成	19,200円	25,600円	32,000円
事務費助成	19,200円	25,600円	32,000円
合 計	38,400円	51,200円	64,000円

② ふれあいシルバーサロン事業

5,137千円

ひとり暮らし高齢者等が、地域住民とのふれあい活動を通して、健康を保持し生きがいが高められるよう、地区福祉推進会が行う座談会・給食会の開催、地域ボランティアの組織化や高齢者の日常生活支援、伝承遊びやスポーツ交流会等の世代間交流活動について支援した。令和5年度と比較して、全ての事業で参加者数が増加し、世代間交流事業の実施率は100%であった。

ア 開催状況

事業名	開催地区	開催回数	参加者数（人）		
			高齢者	その他	合計
1 ふれあい給食会事業	27	72	2,614	1,702	4,316
2 ふれあい座談会事業	23	124	2,869	1,809	4,678
3 ボランティア活動事業	25	357	5,106	4,220	9,326
4 世代間交流事業	32	104	2,259	5,529	7,788
合 計	107	657	12,848	13,260	26,108

イ ボランティア活動事業の主な活動内容

子育て交流支援、児童対象の給食支援・学習支援、雪かきボランティア活動支援、配食弁当、公共施設清掃（公園、歩道等）、草刈り、草取り（公園、公共施設等）、花壇整備

ウ 世代間交流事業の主な活動内容

寺子屋、親子味噌づくり教室、紙飛行機づくり、地元特産物の試食会、ニュースポーツ交流会（モルック等）、昔の遊び交流、季節行事（しめ縄・鏡もちづくり、みずき団子作り、節分豆まき、ひなまつり）

③ シルバーメイト事業

3,498 千円

住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等を対象に、市内地区福祉推進会等が共助活動の一環として安否確認や声かけなどの見守り活動をおこなった。

令和5年度から本人同意不要の「そっと見守り」を各地区の判断で導入することに変更し、令和7年3月31日現在で16地区福祉推進会が導入している。また、全体研修会を下記のとおり開催し「そっと見守り」についての理解を深めた。

- ・日 時 令和7年2月26日（木）13時～15時30分
- ・場 所 盛岡市総合福祉センター4階 講堂
- ・参加者 100名（メイト、推進会役員、民生委員等）
- ・内 容 講話「孤立させない地域をつくる～災害公営住宅における住民主体の見守り体制づくりから～」

実践報告、グループディスカッション

シルバーメイト事業実施状況（令和7年3月31日時点）

地区福祉推進会名	シルバー（人）	メイト（人）
西 厨 川	22	26
北 厨 川	7	10
本 宮	23	30
築 川	3	15
中 野	47	44
つ な ぎ	2	19
青 山	10	22
仁 王	5	4
米 内	16	17
杜 陵	8	29
城 南	19	37
東 厨 川	81	73
仙 北	11	29
山 岸	20	20
桜 城	23	65
太 田	13	43
緑 が 丘	33	62
上 田	50	67
大 慈 寺	34	12
松 園	11	19
加 賀 野	7	6

地区福祉推進会名	シルバー（人）	メイト（人）
見 前	1	1
津 志 田	4	1
乙 部	17	14
飯 岡	34	32
永 井	1	4
み た け	19	33
土 淵	7	43
巻堀姫神	24	12
好 摩	20	25
渋 民	5	1
玉山薮川	37	26
合 計	614	841

④ その他の活動支援

市内2地区福祉推進会主催の学習支援活動に対し、学生ボランティア（高校生・大学生）のマッチング支援をおこなった。

(2) 地域支え合いマップ作成・ふれあいサロン支援

高齢者や障がい者等が住み慣れた地域で、安心・安全に生活できるよう、一人暮らし高齢者等の災害時要援護者を地図上に掲載する「地域支え合いマップ」の作成研修会や防災学習について支援をおこなった。

① 地域支え合いマップ作成支援

ア マップ作成更新支援

令和6年度盛岡市地域社会教育促進事業「学習選択講座」講師として登録を行い、支え合いマップの作成と活用についての講座を企画したが支援の実績はなかった。

イ 研修会・防災グッズ作成体験等の開催支援（2団体）

令和6年度盛岡市地域社会教育促進事業「学習選択講座」講師として登録を行い、防災グッズについての講座を企画した。市内幼稚園、小学校から2件依頼があった。

子育てサロンから防災に関する講話依頼を受け、出前講座を実施している企業の情報提供および連絡調整をおこなった。

(3) ふれあいのまちづくり事業（玉山地域）

596 千円

① 福祉相談活動

玉山総合福祉センターにおいて次のとおり専門家による福祉・生活課題に関する相談会を実施した。相談件数は、令和5年度とほぼ横ばいであった。

区分	相談員	回数	相談者
法律相談	弁護士	年3回（7月・9月・11月）	21名
相続・登記相談	司法書士	年1回（2月）	9名
人権・生活相談	人権擁護委員	月1回（第2水曜日）	4名
一般相談	職員	月曜日～金曜日	41名
相談者数合計			75名
相談件数			66件

② チャイルドシートの貸出し

6歳未満児のいる世帯へチャイルドシート（ベビー、チャイルド、ジュニア）を貸し出した。

種類	保有台数	貸出台数
ベビーシート	42	5
チャイルドシート	54	19
ジュニアシート	39	6

③ ふれあいサポートバンク

介護保険サービス以外の支援を行うサービスとして、利用会員と協力会員間による家事支援の利用実績はなかった。

重層的支援体制整備事業の参加支援事業と協働して、1件の支援（草取り作業）をおこなった。

- 利用会員登録者 15名
- 協力会員登録者 14名
- 利用提供件数 0件
- 提供時間数 0時間

(4) ICTを活用した見守り事業

岩手県社会福祉協議会が岩手県立大学と連携のもとに開発し運用する情報通信技術を活用した「いわて“おげんき”みまもりシステム」に、当協議会が「“おげんき”みまもりセンター」として一人暮らし高齢者等の見守りをおこなった。

みまもりセンターでは、地区福祉推進会、民生児童委員、町内会・自治会等の協力を得ながら地域住民の「みまもり協力者」が35人の一人暮らし高齢者等の安否確認を毎日行うとともに、孤立を防止し安心して毎日の生活を送られるよう支援した。

○実施地区及び登録者数

地区	桜城	西厨川	米内	上田	杜陵	松園	東厨川	仙北	みたけ	本宮	山岸	仁王	青山	河南	城南	緑が丘	津田	合計
人数	3	1	1	1	1	7	3	2	1	5	1	2	2	1	2	1	1	35

3 地域づくりに向けた支援（盛岡市委託事業 重層的支援体制整備事業 一部）

9,057千円

地域における社会的孤立の発生、深刻化を防止するため、住民同士が出会い参加することのできる場や居場所づくりを推進し、支えあう関係性を育む活動を行った。

(1) 地域づくり事業（重点事業）

① 地域住民のニーズ・生活課題の把握

ボランティアニーズに関するアンケート調査を下記のとおり実施し、マッチング基礎資料として活用した。

- ・調査期間 令和6年7月10日～7月31日
- ・調査対象 盛岡市内に住所を有する社会福祉施設84施設
- ・回答者数 延べ47件
- ・主な内容 ボランティア受け入れ状況、ボランティア受け入れに関しての困りごとや課題 等

② 行政や地域住民、NPO等地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開

杜陵地区福祉推進会と共催で杜陵地区防災ウォークを開催し、防災をテーマとするプラットフォームを形成した。

- ・日 時 令和6年10月24日（木）10時30分～14時30分
- ・参加者 50名（地域住民、看護学生、NP0 など）
- ・内 容 避難所までのルート確認、防災食試食、防災士による講話、振り返り「話そう！私たちの地域防災」

ほか、誰もが参加できる居場所づくりに向けて、当事者、地域住民、ボランティア団体、専門職など多様な主体が集まり、「居場所でやってみたいこと」「居場所でやれそうなこと」等についてディスカッションする機会を設けた。

③ 人材の育成

生活支援ボランティア（有償）の全域実施に向けた検討をおこなった。

④ 属性を問わない居場所づくり

新たに市内4ヵ所で属性を問わない居場所を下記の内容で実施した。

- ・都南みんなの家（津志田） 学童保育施設、第2・4木曜日11時～13時、開催回数11回、参加者数延べ75人
- ・豆腐づくり（清水町） 元豆腐店、月1回、開催回数10回、参加者数延べ87人
- ・すみよしじょうほうカフェ（住吉町） 元会計事務所、第2土曜日13時～15時、開催回数4回、参加者数延べ37人
- ・みんなのいばしょ@居郷留（山岸） 元喫茶店、開催回数1回、参加者数21人

(2) サロン活動支援

① ふれあい・いきいきサロン活動等交流会

サロン活動の推進および体制づくりに資する人材・団体を育成するため下記交流会を開催し、情報提供を行い、関係者間のネットワーク構築を図った。

- ・日 時 令和6年7月4日（木）13時30分～15時30分
- ・場 所 盛岡市総合福祉センター4階 講堂
- ・参加者 65名（サロン世話人、地域包括支援センター・介護支援センター等）
- ・内 容 報告「令和5年度高齢者サロン代表者調査結果について」、サロン活動お役立ち情報、意見交換「教えて！となりのサロン活動」

② サロン活動支援プロジェクト「サロンdeお買い物」

サロン世話人と移動販売業者とのつなぎ支援を社会福祉協議会が行い、サロン世話人の負担軽減を図り、屋外での移動販売を行いサロン再開に向けた支援を1地区でおこなった。

4 高齢者いきがい事業等の支援

高齢者の生きがい活動について、関係団体とともに開催した。

(1) 盛岡市ニュースポーツ交流大会・芸能大会の支援

高齢者の生活を健康で生きがいのあるものにするため、老人クラブ連合会および市と共催し、盛岡市ニュ

ースポーツ交流大会および老人芸能大会を開催した。

① 盛岡市ニュースポーツ交流大会

・競技内容：ボッチャ

開催日時	会場	参加者数（名）
9月24日（火）13:30	みたけ老人福祉センター	41
10月1日（火）13:30	好摩体育館	41
10月3日（木）13:30	中野地区活動センター	30
10月7日（月）13:30	盛岡体育館	65
10月10日（木）10:00	加賀野地区活動センター	33
10月10日（木）13:30	山岸地区活動センター	33
10月17日（木）13:30	青山地区活動センター	47
10月22日（火）10:00	本宮地区活動センター	42
10月22日（火）13:30	太田地区活動センター	65
10月24日（木）13:30	都南体育館	66
10月30日（水）13:30	緑が丘地区活動センター	63
合 計		526

② 盛岡市老人芸能大会

- ・期 日 令和7年2月6日（木）12:00～14:00
- ・会 場 トーサイクラシックホール（岩手県民会館）大ホール
- ・参加者 484名
- ・出演団体 18団体（19演目）

(2) 市民福祉茶会

盛岡茶道協会との共催により 70 歳以上の高齢者を対象として参加費割引券を配付した。杜陵老人福祉センターで開催した。本会での申込者数は、31 名だった。児童対象の「ふれあい交流福祉茶会」は感染リスクに配慮し、中止とした。

※盛岡市の予算縮小により実施不可となったこと。また、小地域で高齢者のサロン活動が多く開催されていることから、一定の役割を終えたと判断し、令和6年度をもって事業終了。

5 児童の育成支援

ひとり親家庭、放課後児童や子ども会の健全育成を関係機関等と連携を図りながら実施するとともに、児童・生徒の福祉教育をおこなった。

(1) 児童福祉週間運動・支援

29 千円

5月5日から5月11日までを中心とした児童福祉週間に、盛岡市子ども会育成会連絡協議会と共催で「歩け歩け運動」を実施し、児童の交流を図った。

また、児童の健全育成を目的に講演会を開催し、盛岡市子ども会育成会連絡協議会の会員のほか民生委員や児童委員が参加した。

① 第52回歩け歩け運動（共催 盛岡市子ども会育成会連絡協議会）

- ・期 日 令和6年 5月 5日
- ・会 場 高松の池～愛宕山山頂

- ・参加者 100 名

② 児童福祉講演会（共催 盛岡市民生児童委員連絡協議会・盛岡市子ども会育成会連絡協議会）

- ・期 日 令和6年5月19日
- ・会 場 盛岡市総合福祉センター 4階講堂
- ・講 師 国立岩手山青少年交流の家 所長 藤井 玄 氏
- ・演 題 「あそびと発達～青少年教育の観点から～」
- ・参加者 100 名

(2) 児童館の管理運営事業（盛岡市指定管理者指定事業）

73,056 千円

玉山地域に設置する盛岡市立児童館5館の指定管理者として、放課後及び学校休業日における児童の健全な遊びと幼児の保育を通して児童の健全育成に努めた。令和5年度と比較し、登録児童数は1.8%増加、利用者数は2.7%増加した。

また、令和6年10月から市の「発達支援を必要とする児童の受入支援事業」による発達支援専門員の各館の巡回支援およびモデル館（日戸児童館）でのパーソナルプラン作成研修が実施された。

なお、盛岡市立生出小学校の閉校に伴い、令和7年3月31日を以て生出児童館が閉館となった。

① 運営児童館

児童館名	運営区分	所在地	電話番号
巻堀児童館	幼児・学童混合保育型	盛岡市巻堀字巻堀 101-1	019-682-0228
日戸児童館	学童保育型	盛岡市日戸字市の坪 25-1	019-685-2433
好摩児童館	学童保育型	盛岡市好摩字野中 69-85	019-682-0208
生出児童館	幼児・学童混合保育型	盛岡市下田字仲平 66-2	019-683-2088
渋民児童館	学童保育型	盛岡市渋民字鶴塚 103	019-683-3020

② 職員数（単位：人）

職名	巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合計
館長	1	1	1	1	1	5
主任児童厚生員	0	0	0	0	1	1
児童厚生員	0	0	0	0	0	0
児童厚生員（嘱託）	2	1	2	1	1	7
児童厚生員（非常勤）	4(1)	3(1)	5(2)	4(2)	4	20(6)
合 計	7(1)	5(1)	8(2)	6(2)	7	33(6)

※（ ）内は児童厚生員（非常勤職員）の他館との兼務者数

③ 運営実績

ア 開館時間

区分	月曜日～金曜日	土曜日	学校休業日
幼 児 型	8:00 ～ 18:00	8:00 ～ 12:00	—
学童保育型	10:30 ～ 19:00	8:00 ～ 18:00	8:00 ～ 19:00

※ 休館日：日曜日、国民の祝日・休日、年末年始

イ 登録児童数（単位：人）

区分	巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合計
幼児 年少	0	-	-	0	-	0
年中	0	-	-	0	-	0
年長	0	-	-	0	-	0
計	0	-	-	0	-	0
学童 1年生	1	2	16	0	34	53
2年生	1	2	19	0	38	60
3年生	1	1	20	2	32	56
4年生	1	3	20	1	23	48
5年生	1	1	19	1	18	40
6年生	2	4	3	1	7	17
計	7	13	97	5	152	274
幼児・学童合計	7	13	97	5	152	274

ウ 開館日数・延べ利用者数

区分		巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合計
開館日数（日）		289	252	293	273	293	
利用者数 （人）	幼児・学童	1, 257	2, 566	16, 124	868	26, 405	47, 220
	一 般	118	283	480	160	334	1, 375
	合 計	1, 375	2, 849	16, 604	1, 028	26, 739	48, 595

※ 一般：未登録幼児・学童、中学生、高校生、父母会、老人クラブ等

エ 年間活動実績

月	児童の活動	参加者数 (人)						父母の会活動
		巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合計	
4	入館を祝う会 清掃ボランティア	5	13	72 43	5	132 14	227 57	入館式 父母の会役員会
5	こどもの日お祝い会 農園作業 自然体験 子どもの日茶会 交通安全教室 施設訪問	6 5	13 11 11	87 23 56 55 54	5 5	18	111 51 67 55 54 11	父母の会役員会
6	お茶会 体験学習「ドローン体験」 制作教室		11	82	5	31	87 11 31	父母の会役員会 児童館運営委員会
7	七夕お楽しみ会 児童館・ミニミニ夏祭り(交流) 流しそうめん大会 ナイトウォークラリー スポーツ教室 学童交流会 世代間交流会 交通安全教室 体験学習「お茶会」	7 7 5 5	13 44 11 16	68 56 125 13 53	4 5	130 248 86	198 255 80 125 18 153 44 11 16	父母の会役員会 児童館・親子夏祭り 園庭草取り
8	体験学習(自然体験・社会見学等) バザー お話し会 教室(啄木かるた) プール教室(ゆびあす) キッズクッキング 世代間交流等		5	78 252 95 33	5 5	96 11 20	179 252 95 33 5 16 20	父母の会役員会 バザー

	児童の活動	参加者数（人）						父母の会活動
		巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合計	
9	体験学習等	7					7	体験学習等
	敬老の日プレゼント製作	7	13	96	5	135	256	
	お月見会	7	13	68	5		93	
	お祭り			95			95	
10	体験学習(リンゴ狩・社会学習等)	7	11				18	世代間交流会
	世代間交流等(収穫祭・グランドゴルフ等)		42	75	13	40	170	
	お月見会		13				13	
	施設訪問		11				11	
	お茶会			67	4		71	
	お楽しみ会(ハロウィン)				5		5	
	制作教室					49	49	
11	体験学習(ニュースポーツ等)			22	5	30	57	父母の会役員会 体育教室(ヨガ) お茶会
	体育教室(ヨガ)			34		9	43	
	勤労感謝プレゼントづくり	7	13	96	5		121	
	お茶会			49		30	79	
12	クリスマス会	7	13	82	5		107	父母の会役員会
	施設訪問			7			7	
	お楽しみ会(昼食会)		13	46	5		64	
	お茶会			52			52	
	交流キッズクッキング	4			5		9	
	世代間交流等(昔話会・モルック等)		43				43	
1	新春お楽しみ会	7	13	33	5	130	188	世代間交流会 体験活動(スポーツ教室等)
	世代間交流会(水木団子他)			34	5		39	
	体験学習(スポーツ、生け花等)	5		56	5	14	80	
	段ボールハウス製作			44			44	
	そろばん・クッキング・かるた等			51		46	97	
2	節分・バレンタイン・お楽しみ会	7	13	141	15	123	299	父母の会役員会 児童館運営委員会
	ミニミニ冬まつり		13				13	
	体験学習(生け花)				5		5	
3	ひな祭り会	7	13	74	5		99	父母の会役員会 父母の会総会 お楽しみ会(児童館お別れ)
	お別れ会(修了パーティー)	7	13		5	105	130	
	ひなまつりお茶会			64			64	
	ビリヤード教室			12			12	
	体験教室(和太鼓)					55	55	
	お楽しみ会(児童館お別れ会)				8		8	

※ 随時：避難訓練、交通安全教室、一輪車検定、縄跳び検定、クリーン活動、映画会、花植え等

※ 感染症拡大防止のため中止もしくは内容変更をした行事がある

(3) 学童クラブの管理運営事業（放課後児童健全育成事業）（盛岡市委託事業）

都南こどもの家において、学区内の留守家庭児童の放課後及び学校休業日における保育、関係機関や地域住民と連携した児童健全育成に努めた。

① 都南こどもの家

13,040 千円

- ・所在地 盛岡市津志田 14-20
- ・電話番号 019-637-0602
- ・職員配置 所長兼放課後児童支援員 1 名(嘱託)、放課後児童支援員 1 名(嘱託)、非常勤補助職員 5 名
- ・開設時間 月曜日～金曜日 11:00～18:00 土曜日・学校休業日 8:00～18:00

※ 休所した日：日曜日、国民の祝日・休日、年末年始

・運営実績

ア 年間開設日数 293 日

イ 加入児童数 (単位：人)

1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
6	7	7	9	29

ウ 開設日数・施設利用者数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開設日数 (日)	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
利 用 者 (人)	308	295	279	300	261	243	282	254	277	270	237	294	3,300

エ 年間活動実績

月	活動方針	実施行事	参加者数
4	少しずつ新しい環境に慣れよう。	3日 ミニコンサート 4日 新入生歓迎会 26日 父母の会総会 30日 体育館遊び	19名 18名 保護者11名 15名
5	みんなで、ルールを確認してみよう。	2日 じゃがいも植え 17日 父母の会役員会 27日 公園遊び・手づくりおにぎり	6名 保護者7名 17名
6	班活動に協力し合おう。	17～21日 なわとび記録会	11名
7	好きな事に夢中になってみよう。	22～24日 保育参観 23日 ドッジボール大会 26日 アナウンス教室 31日 高校生ボランティアと水遊び	保護者12名 13名 9名 12名
8	行事に参加して仲間との交流を深めよう。	1日 スイカ割り 2日 エコ・リサイクル教室 7日 消防署見学 20日 手作りおやつ (パフェ) 21日 お買い物ごっこ	14名 11名 11名 17名 10名
9	体を動かして遊ぼう。	13日 父母の会役員会 10～12日 立ち幅跳び記録会	保護者6名 9名
10	みんなで、こどもまつりの準備をしよう。	28日 こどもまつり	24名 保護者16名
11	友だちの魅力を発見しよう。	18～30日 垂直跳び記録会	13名
12	行事を通して参加する意味を知ろう。	19～23日 保育参観 24日 クリスマス会 25日 ダンス教室 26～27日 マラソン大会	保護者2名 23名 6名 14名
1	新しいことにチャレンジしてみよう。	6日 お正月遊び (かるた、福笑い) 7～8日 お買い物ごっこ 9日 ほかわかランチ 10日 キャップ・ハンディ体験	12名 8名 21名 8名
2	寒さに負けず遊ぼう。	2日 節分会 (豆まき、恵方巻づくり) 10～22日 ドリブルレース	11名 12名
3	自分の気持ちをことばにしてみよう。	3日 おひな祭りお茶会 26日 お楽しみ会	13名 22名

6 福祉教育の推進

120 千円

(1) 福祉作文・福祉標語コンクール

① 表彰実績

小・中学校の児童生徒が、「優しさ・思いやり・助け合い」の心を育み、共に支え合う地域づくりを目的に、福祉作文と福祉標語のコンクールを開催した。作文 13 作品、標語 13 作品の応募があり、各部門の最優秀作品を盛岡市社会福祉大会で表彰をおこなった。

〔最優秀者表彰者〕 福祉作文 小学校（高学年）、中学校 各 1 名

福祉標語 小学校（低学年・中学年・高学年）、中学校 各 1 名

② 入賞作品集作成

令和 4 年度から入賞作品集作成にあたり文字入力ボランティアを募っており、令和 6 年度は個人ボランティア 8 名、福祉施設利用者 4 名、地域サークル 1 団体の参加があった。

※作文・標語コンクールの種類が多様になり学校の対応が困難な点と事業開始から一定の目的を達成したため令和 6 年度で事業終了した。なお、児童生徒向けの福祉教育のメニューとしてキャップ・ハンディ体験等を継続実施していくこととする。

(2) キャップ・ハンディ体験

小・中・高等学校、企業・団体、市民を対象に福祉体験学習（アイマスク・白杖体験、車いす体験、高齢者疑似体験）や福祉に関する講話にボランティアや職員を派遣した。また、福祉体験学習をサポートする市民ボランティア「ふくしの学びサポーター」を育成し、体験活動の充実を図った。

① 派遣実績

ア 小学校 26 校 47 回 3,200 人

（山王、手代森、太田東、城南、厨川、仁王、永井、上田、桜城、山岸、上田、北松園、津志田、月が丘、見前、都南東、向中野、見前南、大新、東松園、太田、米内、岩手大学教育学部附属、巻堀、洪民、好摩）

イ 中学校 7 校 7 回 321 人（岩手、北陵、米内、下小路※支援学級、北松園、松園、大宮）

ウ 一般 12 団体 13 回 258 人

（薬局、金融機関、公務員専門学校、看護専門学校、介護施設、生活協同組合、地区民生児童委員協議会、鉄道会社、警察学校）

② 用具貸出し件数 5 件（公的機関、企業、小学校）

③ 市民ボランティア「ふくしの学びサポーター」養成講座

- ・期 日：令和 6 年 11 月 19 日（火）14 時 55 分～16 時 25 分
- ・会 場：MC L 盛岡医療福祉スポーツ専門学校
- ・参加者：5 名

(3) 赤い羽根共同募金出前講座

市内の学校等を対象に職員を派遣して、共同募金のしくみや使途に関する講座を開催し、地域福祉活動としての共同募金運動の理解促進と啓発をおこなった。

開催日	団体名	参加人数
令和 6 年 9 月 10 日	山岸小学校	96 名

7 障がい者（児）の支援

障がい者（児）がスポーツ、遊びなどを通して社会参加やボランティア等との交流が促進されるよう、障がい者スポーツ大会開催に際し、ボランティア募集を行い 11 人の係員派遣の協力をおこなった。

8 ボランティア事業の推進

市民のボランティア活動への参加を促進するため、ボランティアの養成、登録・斡旋、ネットワークづくりへの支援を行うとともに、ボランティア保険の加入やボランティア団体の活動に対して助成をおこなった。

(1) ボランティアの養成研修

① 高校生ボランティアスクールの開催

- ・期 日 令和 6 年 7 月 29 日(月)～7 月 31 日(水)
- ・会 場 盛岡市総合福祉センター、市内 3 カ所
- ・内 容 講話、体験活動（障がい児・者の余暇活動支援、高齢者サロン活動交流、児童の余暇活動支援）
- ・参加者 31 名

② ボランティア養成講座の開催（玉山地域）

- ・期 日 令和 6 年 8 月 31 日（土）10 時 30 分～12 時
- ・会 場 盛岡市玉山総合福祉センター 1 階 集会室
- ・内 容 講話「知ってみよう 認知症のこと」
- ・参加者 11 名

③ ボランティア入門講座の開催

- ・期 日 令和 7 年 2 月 15 日（日）10 時～12 時 30 分
- ・会 場 盛岡市総合福祉センター
- ・内 容 講話「ボランティアってどんなこと？」、パネルディスカッション「私とボランティア活動」、現役ボランティアとの意見交流会
- ・参加者 21 名

(2) ボランティアの登録・マッチング

① ボランティアの登録 9,401 名

（内訳）個人 241 名（前年度比 5 名増加）、団体 115 団体 9,160 名（前年度比 2 団体増 654 名減）

② ボランティア活動に関する相談およびマッチング

ア 相談件数 112 件

イ 内訳

（内容別）ボランティア団体情報の照会 19 件、個人ボランティアの照会 0 件、イベントボランティアの募集 8 件、ボランティア活動の照会 34 件、地域連携 10 件、連絡・情報共有 41 件、助成金情報提供 0 件、ボランティア団体活動運営 0 件、その他 0 件

（相談者別）一般市民 44 件、ボランティア団体 27 件、福祉団体 13 件、企業 3 件、専門職 15 件、社協 1 件、その他 9 件

ウ マッチング実績（代表事例）

【災害ボランティア】事前にボランティア登録時に災害時の協力情報を取りまとめていたこと、日常的に既存のボランティアネットワークと情報提供を行っていたため、緊急時の募集に対して継続してマッチングを行う事が出来た。

【居場所づくり】地域共生社会推進フォーラム開催時にボランティア講座(居場所運営ボランティア)の案内を行い、そのうちの参加者3名が本会の居場所(豆腐づくり、すみよしじょうほうカフェ)に参加した。継続的な情報提供とマッチングを行えたため、活動が促進された。

(3) ボランティア・市民活動ネットワークの推進

① 盛岡市ボランティア連絡協議会への活動助成

② 「ぼられんネットかわらばん」(A4版)の発行

③ ボランティアまつり「ふれあい広場」の開催

- ・期 日：令和6年10月27日(日)11時～14時半
- ・会 場：いわて県民情報交流センター「アイーナ」4階 県民プラザ、アイーナスタジオ
- ・内 容：わくわくこどもランド、きらきらステージ、ボランティア体験コーナー等
- ・参加団体：23団体

④ 全体交流会

期 日：令和7年11月7日(木)18時半～19時半

会 場：盛岡市総合福祉センター

内 容：お茶会

⑤ 災害の備えに関する研修会

期 日：令和7年2月1日(土)10時～14時半

会 場：都南公民館

内 容：外部講師による能登半島大震災・市内豪雨災害時の活動講話、炊き出し体験

(4) ボランティア保険の加入助成

857 千円

ボランティア活動保険 加入者 7,221 名

保険種別	加入者数	備考
基本	6,282 名	うち 5,343 名助成
天災・地震	939 名	

(5) 活動機材の貸出し

ボランティア活動への支援のため、活動団体に対してフライテントを貸し出した(4件)。

(6) 福祉除雪

ひとり暮らし高齢者や障がい者等、除雪が困難な世帯等からの要請を受けて、福祉除雪協力団体や個人ボランティアが日常生活に支障がある範囲の雪かき活動を行うもので、本年度は積雪量が少なく活動実績は0回であった。また、除雪に関する相談などに随時対応し、情報提供等を行った。相談のうち1件、福祉除雪の依頼から異なるニーズを確認し個人ケースに移行した。

① 登録状況 協力団体8団体、個人ボランティア2名

② 相談件数 19 件

(内訳) 事業説明 18 件

有償業者紹介 12 件

ボランティア団体対応 0 件(昨年度比 0 件減)

個人ボランティア対応 0件（昨年度比 0件減）
社協職員対応 2件（昨年度比 2件増）
避難行動要支援者に関するチラシ紹介（R 5から市の依頼） 3件（昨年度比 1件増）

9 福祉団体の育成・支援

2,527 千円

全市的範囲で活動する専門別に組織された福祉関係団体（8団体）に対して運営経費の一部を助成することにより、当該団体の育成と活動支援に努めた。

(1) 盛岡市民生児童委員連絡協議会

民生児童委員活動を通じた在宅福祉援助活動、調査、研修等、関係機関との連絡協調のための諸活動への支援

【主な事業】

- ① 地区会長定例会議（民生児童委員活動について）の開催
- ② 学習会、交流会、研修会の開催
- ③ 調査活動（高齢者世帯調査、在宅介護者調査など）の実施

(2) 盛岡市子ども会育成会連絡協議会

市内子ども会育成活動への指導や児童福祉の向上のために行う諸活動への支援

【主な事業】

- ① 盛岡市子ども会スポーツ大会
- ② 盛岡市子ども会活動交流会の開催
- ③ 清掃奉仕活動の実施
- ④ 盛岡市子ども会育成者研修会の開催
- ⑤ 盛岡市子ども会議の開催
- ⑥ 盛岡市子ども会育成会活動交流研修会の開催

(3) 盛岡市保育所協議会

園児の保育に関する調査・研究、職員研修、関係機関との連絡協調への支援

【主な事業】

- ① 職員研修の実施
- ② 教養講座、永年勤続伝達式の開催
- ③ 広報紙の発行

(4) 盛岡市身体障害者協議会

身体障がい者の福祉向上のためにおこなう諸活動への支援

・主な事業

- ① 研修会の開催
- ② 会員とボランティアによるレクリエーション（スポーツ等）の実施

(5) 盛岡市保健推進員協議会

市民の健康増進活動及び子育て支援活動等健康づくりに関する研修等開催事業

【主な事業】

- ① 健康相談・健康教室開催支援など保健事業の推進
- ② 献血事業の推進協力

③ 研修会等実施

(6) 盛岡市老人クラブ連合会

市内老人クラブの指導と高齢者福祉向上のためにおこなう諸活動への支援

【主な事業】

- ① 清掃奉仕活動
- ② 高齢者相互の友愛（集い）活動、子どもの見守り活動への取り組み
- ③ クラブ会員学習会、研修会、交流懇談会の開催
- ④ 高齢者パソコン同好会への支援

(7) 盛岡市手をつなぐ育成会

知的障がい者・児が「地域で共にくらす」ための福祉サービスの充実のためにおこなう諸活動への支援

【主な事業】

- ① 新成人への贈答品送付事業、研修会、茶話会の開催
- ② 相談支援事業実施等

(8) 盛岡市学童保育連絡協議会

市内の学童クラブ指導員の連携、保育・指導内容の研究、研修等への支援

【主な事業】

- ① 各学童クラブへの備品整備支援の実施
- ② 指導員部会研修会の開催

10 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動への協力

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動に協力し、次のとおり災害見舞金及び激励金等の給付や地域福祉コーディネート活動事業では支援生活必需品の支給等をおこなった。

(1) 小規模災害被災者見舞金

住居の火災による被災のあった世帯に対し、次のとおり見舞金を給付した。

災害名	世帯数	金額
住居火災	18	205,000 円
大雨災害	8	80,000 円

(2) 歳末たすけあい募金運動寄付金の給付

歳末たすけあい運動への寄付金を生活困難世帯に給付した。

○在宅生活困難世帯

給付先	件数	金額
重度心身障がい児者世帯	68	680,000 円
在宅要介護世帯	13	130,000 円
ひとり暮らし高齢者世帯	90	630,000 円
高齢者夫婦世帯	10	70,000 円
ひとり親世帯	485	3,395,000 円
ひとり親世帯への図書カード配布	485	1,217,000 円
生活困難世帯	181	1,267,000 円
合 計	1,332	7,389,000 円

(3) 生活困窮世帯支援生活用品等支給事業

地域福祉コーディネート活動における生活困窮世帯に対し、カセットコンロ等の生活用品を給付のほか、住居清掃等に要する消毒液や洗剤やゴミ袋等を支給した。

11 地区福祉懇談会の開催

46 千円

第2期地域福祉活動計画を推進するため10地区で地区福祉懇談会を開催し、地域課題の解決に向けた活動について意見交換をおこなった。

なお、米内地区は8月27日大雨災害に伴う対応を考慮し、開催を中止した。

(1) 地区福祉懇談会

地区	期日	場所	参加者	テーマ
つなぎ	9月13日(火)	つなぎ地区活動センター	20名	地域でできる防災について学び考えよう ～平成25年8月豪雨災害の振り返りから～
桜城	9月26日(木)	桜城老人福祉センター	17名	地域活動の広報について
見前	10月2日(水)	見前南地区公民館	37名	見前地区ごみ出し支援事業について
緑が丘	10月11日(金)	緑が丘老人福祉センター	34名	① 気軽に行ける交流の場づくりについて ② 地域活動の担い手づくりについて
杜陵	10月24日(木)	杜陵老人福祉センター	46名	～杜陵地区防災ウォーク～ 話そう！私たちの地域防災
城南	11月27日(水)	山王児童老人福祉センター	39名	災害に備える町内会・自治会の役割を考えよう
太田	12月2日(月)	太田児童センター	39名	太田地区の防災と福祉
飯岡	12月10日(火)	飯岡農業構造改善センター	41名	後継者育成、地域を担うリーダーを今から育てていくために
みたけ	2月7日(金)	みたけ地区活動センター	36名	安心して歳を重ねていける地域づくりに
玉山・蔵川	2月12日(水)	玉山地区公民館	17名	よりよい地区福祉推進会活動のために

第4 生活支援サービスの推進

1 地域福祉コーディネート活動

100千円

生活困窮や引きこもり、ゴミ屋敷、不登校などの個別課題や地域課題解決に向けて相談対応を行い、関係機関等と連携して取り組みを進めた。新規相談件数は414件で、月平均34.5件であった。

また、盛岡市、フードバンク岩手と協働実施の「こども応援プロジェクト」などを通じて、生活困窮のひとり親世帯へのアウトリーチを基本とした相談対応を行い、各種制度へ繋ぐとともに行政への支援要請や関係相談機関、民生委員等と連携しながら課題解決への取り組みをおこなった。

○相談者・相談件数

区分		件数
新規相談者数		414
新規相談世帯数		225
対象者の性別		
(内訳)	男	123
	女	152
	不明・その他	139
新規相談者の年代		
(内訳)	0～19 歳	98
	20～29 歳	10
	30～39 歳	14
	40～49 歳	42
	50～59 歳	21
	60～64 歳	11
	65 歳以上	74
	不明	144
相談方法 (世帯数)		225
(内訳)	電話	174
	来所	21
	出先・口頭	18
	手紙	0
	電子メール	12

区分		新規件数	延べ件数
相談対象数		414	3,224
(内訳)	高齢者	71	917
	身体障がい者	6	119
	精神 〃	29	812
	知的 〃	5	165
	児童	69	275
	一般・その他	234	936
相談内容件数		426	2,282
(内訳)	病気	14	73
	けが	0	3
	障がい (手帳有)	20	110
	障がい (疑い)	14	92
	自殺企図	1	4
	その他メンタルヘルス	21	77
	住まい不安定	7	26
	ホームレス	2	1
	経済的困窮	62	409
	債務	9	44
	家計管理の問題	12	182
	就職活動困難	4	34
	就職定着困難	4	21
	生活習慣の乱れ	0	4
	社会的孤立	18	159
	家族関係	26	140
	介護	16	41
	子育て	7	30
	不登校	5	57
	非行	0	1
	中卒・高校中退	0	9
	ひとり親	2	8
	DV・虐待	3	13
	外国籍	0	0
	刑余者	0	0
	コミュニケーションが苦手	1	12
	本人の能力課題	4	12
	被災	0	0
	ゴミ屋敷	20	212
	権利擁護	1	2
	近隣トラブル	18	57
	地域課題	1	1
	問い合わせ	56	0
	その他	78	448

2 重層的支援体制整備事業（盛岡市委託事業）

36,792 千円

改正社会福祉法において、「多機関の協働による包括的相談支援体制構築事業」から「重層的支援体制整備事業」に改称され、令和3年度の「移行準備事業」を経て令和4年度より本格実施となった。

盛岡市の第2期盛岡市地域福祉計画における地域トータルケアシステムの構築を実現するため、既存の制度を活用しながら、福祉・保健・医療の分野横断的なネットワークと相談支援体制の構築、また盛岡市社会福祉協議会の第2期地域福祉活動計画における解決しにくい課題への対応を地域福祉コーディネーターが担い、23名の重層的支援アドバイザー（令和6年度より相談支援包括化推進員より名称変更）と連携し個別支援を中心にアプローチを行った。令和6年度の新たな試みとして、複雑化・複合化した課題の解きほぐし等から、既存の会議や重層的支援会議へつなぐことを目的としたケースアセスメント会議を新規に導入し、個別ケースの対応を行った。

また、“住まいる”プロジェクトやBook and Bookenergy in Moriokaを参加支援事業に位置付け、社会参加のきっかけづくりを行った。

(1) 事業内容

項目	内容
まるごと推進会議	重層事業全体の実施状況の評価等をおこなう。重層的支援アドバイザー、盛岡市各課、関係機関等が参加。 6月、11月、3月の3回実施
よりそい会議	個別ケース会議（本人同意あり）。令和6年度の開催なし。
支援会議	個別ケース会議（本人同意なし。社会福祉法106条の6に依り開催）。 9回開催、7ケース
ケースアセスメント会議	令和6年度より新設 個別ケースの複雑化・複合化した課題を解きほぐすと共に、課題を明確化し、既存の会議へ繋いだり、よりそい会議または支援会議へつないだりすることを目的とした会議。 11回開催、11ケース
困りごとまるごと無料相談会	多分野の専門家による出張相談会。開催地区を変えながら4回（6月、8月、11月、1月）実施し52件の相談に対応
参加支援事業	○Book and Bookenergy in Morioka 寄付いただいた本の仕分け、再販売。（1時間250円） ・盛岡市総合福祉センター会場(21回 398名) 毎月第1、3水曜日 10時～15時 ・となんカナンサテライト(11回 21名) 毎月第2水曜日 13時～15時 ・盛岡少年刑務所矯正展出店の手伝い（1回 1名） ・保管倉庫への書籍搬入の手伝い（1回 2名）
	○“住まいる”プロジェクト ゴミ屋敷状態の家の片づけとサービス導入や社会的なつながりの回復を併せておこなう活動。 ・2回（2名）

	○生活支援 加齢等の理由により庭木の手入れが困難となり、近隣トラブルとなっている世帯への支援と地域課題の解消を目指すためのボランティア活動。 ・ 4回（7名）
	○チラシ・ポスター作成 社協が実施する催しのチラシやポスターのデザイン。 ・ 6回（6名）
	○ひきこもり当事者団体が実施する催しへの協力 築川地区でおこなっている畑作りなど、当事者同士や地域住民との交流等、社会とつながる活動の支援。 （畑作業 11 回、ボランティアまつり「ふれあい広場」（アイーナ）での野菜販売活動 1 回、収穫祭（つといの森） 1 回、そば打ち体験 1 回）
	令和 6 年度より実施 ○アロニア収穫および選別体験 築川地区のアロニア農家と連携した、農福連携の試験的な取り組みを実施。アロニアの収穫および選別に係る作業をおこなった。 ・ 4回（7名）
	令和 6 年度より実施 ○災害ボランティア活動 8 月に発生した水害被害に伴う、災害ボランティア活動（家屋等へ流れ込んだ土砂や流木等の撤去作業など）。 ・ 3回（3名）
アウトリーチ事業	年間 526 件。 アウトリーチすることの多い類別： 経済的困窮 124 件、社会的孤立 73 件、ごみ屋敷 64 件、家族の問題 44 件、家計管理の問題 36 件

(2) 分科会の実施

分科会	回	内容
金銭管理分科会	1 回	金銭管理制度の利用につながるまでの間の支援について検討。
ひきこもり分科会	4 回	ひきこもり支援センター設置に向けた検討。
居場所づくり分科会	2 回	属性を問わない居場所づくりの検討および報告。
再犯防止分科会	2 回	第二次盛岡市再犯防止推進計画の策定に向け、更生支援における連携の在り方について検討。

3 心配ごと相談

市民が抱えているさまざまな問題について、心配ごと相談所相談員が広く相談に応じ、その問題解決のための助言をおこなった。主に、中央相談室（盛岡市総合福祉センター）では精神保健、家族、高齢者福祉等に関する相談、都南相談室（市役所都南総合支所）では人権・法律に関する相談に応じた。

相談件数は、令和 5 年度（842 件）と比較して 2.4%減少し、年齢別では、40～49 歳が増加し、50～59 歳、

80 歳以上の相談が減少した。

- (1) 中央相談室 年間開催日数 239日 開設日及び時間 月曜日～金曜日 10時 ～ 16時
 (2) 都南相談室 年間開催日数 12日 開設日及び時間 毎月 第3金曜日 10時 ～ 16時

① 事項別相談件数

相 談 事 項	1 生計	2 年金	3 職業・生業	4 住宅	5 家族	6 結婚	7 離婚	8 健康・衛生	9 医療	10 精神保健	11 人権・法律	12 財産	13 事故	14 児童福祉・母子	15 教育・青少年	16 心身障がい者(児)福祉	17 母子・父子福祉	18 高齢者福祉	19 苦情	20 その他	合 計
中 央 相 談 室	18	0	5	5	64	0	2	2	1	436	1	3	0	0	0	17	0	15	2	219	790
都 南 相 談 室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31
合 計	18	0	5	5	64	0	2	2	1	436	32	3	0	0	0	17	0	15	2	219	821

※ 相談事項の20「その他」は、話しを聞いて欲しい、寂しい等

② 事項別相談援助活動件数

事項別	中 央 相談室	都 南 相談室	合 計	事 項 別	中 央 相談室	都 南 相談室	合 計
A. 解決終了	785	31	816	E. 社協による援助実施			
B. 相談継続(相談のみの状態で継続する場合)	0	0	0	E-1 相談員・専門援助員	2	0	2
				E-2 福祉活動専門員(又は類似の業務を行う者)	0	0	0
				E-3 ボランティア活動	0	0	0
				E-4 その他	0	0	0
C. 他相談機関への引継ぎ (相談そのものの中心窓口を他に移す場合)	0	0	0	F. 他機関・組織への紹介			
D. 地区社協への引継ぎ D-1 小地域ネットワーク D-2 その他地区社協活動 D-3 その他	1 0 0	0 0 0	1 0 0	F-1 民生児童委員	0	0	0
				F-2 福祉事務所又は市町村担当課	0	0	0
				F-3 保健所	1	0	1
				F-4 福祉施設	0	0	0
				F-5 当事者組織	0	0	0
				F-6 その他の行政機関	0	0	0
				F-7 その他の民間組織	1	0	1
				合 計	790	31	821

③ 年齢別相談件数 (中央相談室)

区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合 計
実相談件数(人)	0	3	146	121	60	175	165	117	787
割 合 (%)	0	0.4	18.5	15.4	7.6	22.2	21	14.9	100.0

4 生活福祉資金等の貸付相談事業

低所得者等を対象とする生活資金（生活福祉資金、助け合い資金）の貸付相談に対応するため、相談員5名

を配置し、関係機関と緊密なネットワークを図り、生活の不安定状態の改善に向けた相談等について対応した。

(1) 生活福祉資金の貸付相談 (岩手県社会福祉協議会委託事業)

21,813 千円

他の貸付制度が利用できない低所得世帯、障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、民生委員の協力のもとに、各種の生活福祉資金の貸付相談に当たった。

また、新型コロナウイルスの影響を受け特例緊急貸付を受けた世帯に対しフォローアップ支援により、償還猶予などについての情報提供や困りごとの聞き取りなど、継続的な支援をおこなった。

貸付（不動産担保型生活資金を除く。）実績は、令和5年度と比較して貸付件数は26.6%、貸付金額で16.9%減少した。

① 総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援(就労支援、家計指導等)と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯の方々に貸付をおこなった。

資金種類	件数	金額	件数比率	金額比率
生活支援費	2 件	765,000 円	100.0%	100.0%
一時生活再建費	0 件	0 円	0%	0%
住宅入居費	0 件	0 円	0%	0%
合 計	2 件	765,000 円	100.0%	100%

② 福祉資金 福祉費

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対して、技能習得、転居、住宅改修、医療費等の貸付をおこなった。

資金種類	件数	金額
福祉資金	26 件	8,456,000 円

③ 福祉資金 緊急小口資金

緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となった方々に貸付をおこなった。

資金種類	件数	金額
緊急小口資金	32 件	2,656,000 円

④ 教育支援資金

高等学校、大学、高等専門学校の入學に際し必要な経費「教育支援費」と「就学支度費」の貸付をおこなった。

資金種類	件数	貸付金額	件数比率	金額比率
教育支援費・就学支度費(併用)	42 件	50,041,000 円	65.6%	79.4%
教育支援費	12 件	9,768,000 円	18.8%	15.5%
就学支度費	10 件	3,237,000 円	15.6%	5.1%
合 計	64 件	63,046,000 円	100.0%	100.0%

⑤ 不動産担保型 生活資金

高齢者世帯を対象に、現在居住している不動産（土地）を担保に生活資金の貸付をおこなった。

ア 令和6年度中の貸付決定件数・金額

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
不動産担保型 生活資金	0 件	0 円	0 円

イ 令和6年度末貸付状況（累計）

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
不動産担保型 生活資金	5 件	100,000～250,000	6,986,000～17,290,000 円

⑥ 要保護世帯向け 不動産担保型 生活資金

要保護の高齢者世帯を対象に、現在居住している不動産（土地・建物）を担保に生活資金の貸付をおこなった。

ア 令和6年度中の貸付決定件数・金額

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
要保護世帯向け 不動産担保型 生活資金	0 件	0 円	0 円

イ 令和6年度末貸付状況（累計）

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
要保護世帯向け 不動産担保型 生活資金	20 件	28,116～226,020 円	3,668,000～18,340,000 円

⑦ 生活復興支援資金

東日本大震災により被災し、失業や休業等により、日常生活全般に困難を抱えている世帯に対する資金であり、令和6年度の実績はなかった。

⑧ 関係機関との連携

ア 盛岡市くらしの相談支援室（自立相談支援機関）との連携により家計改善や就労に係る支援と結び付けることで借受世帯の自立に向けた継続的な支援をおこなった。

イ フードバンク岩手との連携により、資金が提供されるまでの期間、食糧支援をおこなった。

ウ 消費者信用生活協同組合主催の「くらしとお金の安心合同相談会」に参加し生活福祉資金の利用が必要な世帯の相談対応を行った。（7月 会場：消費者信用生活協同組合）

⑨ 広報活動

福祉もりおかNo.216（令和6年6月15日発行）に総合支援資金、No.217（令和6年9月15日発行）に教育支援資金のお知らせを掲載して周知を図った。

(2) 助け合い資金の貸付相談

5,048 千円

低所得世帯や要保護世帯等に対して、一時的に必要な生活費等の資金として小口貸付（8万円以内）を実施した。

貸付実績は、令和5年度と比較して貸付件数で7.5%、貸付金額で20.6%増加した。

① 貸付額別件数

貸付金額	1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～4万円未満	4万円～5万円未満	5万円～6万円未満	6万円～7万円未満	7万円～8万円未満	8万円	合計
件数(件)	1	17	47	49	16	22	2	1	2	157
比率(%)	0.6	10.8	29.9	31.2	10.2	14.0	1.3	0.6	1.3	100.0

② 月別件数・金額

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	7	22	10	13	8	13	11	16	14	20	11	12	157
金額(千円)	190	604	295	318	191	359	357	545	597	536	458	430	4,880
比率(%)	4.5	14.0	6.4	8.3	5.1	8.3	7.0	10.2	8.9	12.7	7.0	7.6	100.0

③ 年度別貸付推移

区分	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件数 (件)	117	138	138	135	142	158	146	157
金額(千円)	3,943	4,750	4,392	4,007	4,006	4,720	4,047	4,880

5 日常生活自立支援事業（岩手県社会福祉協議会委託事業）

22,362 千円

(1) 事業内容

盛岡市・紫波町・矢巾町の基幹社協として、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続きの援助やそれに伴う利用料の支払いを含む日常的金銭管理等の支援を行った。令和5年度と比較して新規契約数は9名減、実利用者数は同数となった。

また、成年後見制度へ円滑な移行を推進するためのコーディネートや関係機関とネットワークの構築をおこなった。

(2) 実施体制（基幹社協）

専門員5名、生活支援員19名（うち、盛岡市担当15名）を配置した。

(3) 援助内容

- ① 福祉サービスの利用手続きや情報提供と助言
- ② 福祉サービスの利用料の支払いや日常的な金銭管理サービス
- ③ 苦情解決制度の利用等援助
- ④ 書類等の預かりサービス

(4) 利用料

1時間当たり 1,300 円（生活保護世帯を除く一般世帯）

(5) 新規契約状況

- ① 新規契約者数 32 名
- ② 解約者数 30 名

ア 性別・世帯状況

区分	男性	女性	合 計	一般世帯	生保世帯	合 計
新規契約利用者数(人)	19	13	32	15	17	32

イ 種別状況 () 内は盛岡市

区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
男性 (人)	7(7)	1(1)	11(11)	0(0)	19(19)
女性 (人)	7(7)	3(3)	3(3)	0(0)	13(13)
合 計	14(14)	4(4)	14(14)	0(0)	32(32)

ウ 支援先の状況

区分	件 数	区分	件数
自宅	16	一般病院	0
デイケア	4	精神病院	0
グループホーム	3	デイサービス	0
社協	0	障がい福祉サービス事業所	0
福祉施設	0	作業所	6
有料老人ホーム、老人保健施設	3	合 計	32

エ 契約者の申込相談経路

区分	件数	区分	件数
本人	0	障がい者地域生活支援センター	1
配偶者	0	定着支援センター	0
指定居宅介護支援事業所(ＣＭ)	7	行政機関	4
地域包括支援センター	4	医療機関	5
児童福祉施設	2	社会福祉協議会	0
自立相談支援機関	2	グループホーム	3
相談支援事業所(相談支援専門員)	4	合 計	41

(6) 利用状況

① 実利用者累計 224 名

- ・延べ契約者数 980 名(盛岡市・矢巾町・紫波町 839 名、滝沢市・八幡平市移管者数 141 名)
- ・延べ解約者数 754 名(盛岡市・矢巾町・紫波町 612 名、滝沢市・八幡平市移管者数 142 名)

ア 性別・世帯状況

区分	男性	女性	合 計	一般世帯	生保世帯	合計
6年度末実利用者数(人)	107	117	224	96	128	224

イ 障がい別状況

() 内は盛岡市

区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
男 性(人)	29(23)	16(13)	58(57)	4(4)	107(97)
女 性(人)	46(41)	25(23)	45(42)	1(1)	117(107)
合 計	75(64)	41(36)	103(99)	5(5)	224(204)

ウ 市町別実利用者状況

市町名	新規契約 実利用者数 (人)	現在実利用 者数 (人)	事業開始以来の延べ 契約締結者数 (人)
盛 岡 市	32	204	738
紫 波 町	0	17	62
矢 巾 町	0	3	39
合 計	32	224	839

エ 支援内容 (払出し方法)

区分	代行	代理	同行	合計
一般世帯 (人)	52	44	0	96
生保世帯 (人)	71	57	0	128
合 計	123	101	0	224

オ 毎月の支援回数

区分	月 1 回	月 2 回	月 3 回	月 4 回	隔月	合計
一般世帯 (人)	68	22	0	3	3	96
生保世帯 (人)	78	42	0	8	0	128
合 計	146	64	0	11	3	224

6 不利益な取扱いに関する相談受付 (岩手県社会福祉協議会委託事業)

「障がいのある人もない人も共に学び共に生きる岩手県づくり条例」に基づき、障がいのある方に対する不利益な取扱いに関する相談はなかった。

第5 在宅福祉サービスの推進

1 介護保険サービス

(1) 指定居宅介護支援事業

48,213 千円

盛岡駅西口指定居宅介護支援事業所及び月が丘指定居宅介護支援事業所は特定事業所加算 (Ⅱ) の算定要件をそれぞれ満たし、介護支援専門員 (ケアマネジャー) が要介護者等からの相談に応じるとともに、医療機関や介護サービス事業所などと連絡・調整を行いながら心身の状況等に適した介護サービス計画 (ケアプラン) を作成し、適切かつ良質なケアマネジメントの提供に努めた。

介護サービス計画作成及び介護予防ケアマネジメントの両事業所を合わせた作成件数は、令和5年度と比較して3.4%減少した。

① 盛岡駅西口指定居宅介護支援事業所

- ・所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目2番2号
- ・電話番号 019-653-3012
- ・職員配置 所長1名、管理者(主任介護支援専門員)1名、主任介護支援専門員2名、介護支援専門員2名
- ・営業日及び時間 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
- ・事業実績

ア 稼働営業日数 245日

イ 介護度別利用契約者

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性(人)	16	9	8	1	1	35
女性(人)	38	33	17	11	11	110
合計	54	42	25	12	12	145

ウ 世帯分類別利用契約者

区分	契約者数
一般世帯	47
高齢者世帯	36
独居世帯	62

エ 介護サービス計画(ケアプラン)作成件数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護サービス計画作成件数(件)		154	163	155	156	156	162	158	157	157	155	152	149	1,874
要介護状態(件)	要介護1	51	58	56	58	56	59	56	59	58	56	55	55	677
	要介護2	48	52	47	48	47	48	45	41	43	38	41	43	541
	要介護3	31	29	27	25	24	27	26	28	28	34	28	26	333
	要介護4	14	14	15	15	16	17	18	18	17	16	15	13	188
	要介護5	10	10	10	10	13	11	13	11	11	11	13	12	135
営業日数(日)		21	21	21	22	21	19	22	21	20	19	18	20	245

オ 要介護認定調査依頼件数

(内訳: 盛岡市99件、北秋田市1件、五所川原市1件、二戸広域連合1件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護認定調査件数(件)	8	13	7	8	6	9	10	6	10	9	10	6	102

カ 介護予防サービス計画作成及び介護予防ケアマネジメント受託件数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数(件)		22	24	24	24	25	26	27	25	28	26	25	25	301
委託元	駅西口	11	11	13	13	14	15	16	14	17	16	15	15	170
	みたけ・北厨川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	青山	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	58
	仁王・上田	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	72
	イーハトーブ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

※ 委託元 「駅西口」：盛岡駅西口地域包括支援センター 「みたけ・北厨川」：みたけ・北厨川地域包括支援センター
「青山」：青山和敬荘地域包括支援センター 「仁王・上田」：仁王・上田地域包括支援センター
「イーハトーブ」：イーハトーブ地域包括支援センター

② 月が丘指定居宅介護支援事業所

- ・所在地 盛岡市月が丘三丁目7番5号
- ・電話番号 019-601-7399
- ・職員配置 所長1名、管理者(主任介護支援専門員)1名、介護支援専門員4名
- ・営業日及び時間 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
- ・事業実績

ア 稼働営業日数 245日

イ 介護度利用契約者

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性(人)	17	19	9	4	0	49
女性(人)	32	34	11	17	6	100
合計	49	53	20	21	6	149

ウ 世帯分類別利用契約者

区分	人数
一般世帯	46
高齢者世帯	27
独居世帯	76

エ 介護サービス計画(ケアプラン)作成件数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護サービス計画作成件数(件)		169	167	165	159	155	153	153	153	147	145	152	149	1,867
要介護状態(件)	要介護1	57	57	55	49	48	49	48	47	44	46	51	49	600
	要介護2	56	51	52	52	54	53	55	55	55	53	53	53	642
	要介護3	28	28	27	26	23	24	24	24	21	19	21	20	285
	要介護4	17	19	20	21	20	19	20	20	20	21	20	21	238
	要介護5	11	12	11	11	10	8	6	7	7	6	7	6	102
営業日数(日)		22	21	21	22	21	19	22	20	20	19	18	20	245

オ 要介護認定調査依頼件数（内訳：盛岡市 38 件、鹿角市 2 件、遠野市 1 件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護認定調査件数(件)	6	4	3	4	4	3	3	2	4	2	3	3	41

カ 介護予防サービス計画作成及び介護予防ケアマネジメント受託件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数（件）	22	21	22	20	21	22	22	19	18	21	22	23	253
委託元	駅西口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	みたけ・北厨川	8	8	8	8	8	9	10	8	7	9	9	102
	青山	13	13	14	12	12	13	12	11	11	12	13	149
	仁王・上田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イーハトーブ	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2

※ 委託元 「駅西口」：盛岡駅西口地域包括支援センター 「みたけ・北厨川」：みたけ・北厨川地域包括支援センター
「青山」：青山和敬荘地域包括支援センター 「仁王・上田」：仁王・上田地域包括支援センター
「イーハトーブ」：イーハトーブ地域包括支援センター

(2) 訪問介護・訪問型サービス事業

84,067 千円

要介護者の状況を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他生活全般にわたる援助をおこなった。また、介護予防・日常生活支援総合事業として要支援者等には訪問型サービスを併せて実施し、要介護状態となることを予防し、自立した日常生活を営むことができるよう、生活全般にわたる支援をおこない、生活機能の維持及び向上を目指した。

両事業所を合わせた利用延べ人員は、令和 5 年度と比較して 4.4%減少した。

① 盛岡駅西口ヘルパーステーション

- ・所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目 2 番 2 号
- ・職員配置 所長 1 名、総括主任ヘルパー 1 名、主任 1 名、副主任 3 名、訪問介護員 16 名
- ・営業日及び時間 月曜日～土曜日 8 時 30 分～17 時 15 分
- ・営業時間外対応 電話等により 24 時間常時連絡可能
- ・主なサービス 身体介護、家事援助、日常生活上の支援（要支援者等への介護予防サービス）

○訪問介護・訪問型サービス事業実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人員(人)	179	176	170	167	163	164	165	167	166	165	171	171	
利用延べ人員(人)	1,548	1,532	1,396	1,507	1,376	1,406	1,506	1,331	1,359	1,288	1,270	1,343	16,862

② 月が丘ヘルパーステーション

- ・所在地 盛岡市月が丘三丁目7番5号
- ・職員配置 所長1名、主任1名、副主任2名、訪問介護員14名
- ・営業日及び時間 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分
- ・営業時間外対応 電話等により24時間常時連絡可能
- ・主なサービス 身体介護、家事援助、日常生活上の支援（要支援者等への介護予防サービス）

○訪問介護・訪問型サービス事業実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人員(人)	95	95	96	92	91	86	85	86	84	83	78	85	
利用延べ人員(人)	747	767	702	739	680	673	709	656	622	593	559	607	8,054

③ 保険外自費サービス

訪問介護事業の利用者が自立した日常生活を継続的に営むための支援として、介護保険法による事業の対象とならないサービス（病院内介助、雪かき、片づけ等）を実施した。

両事業所を合わせた利用延べ人員は、令和5年度と比較して29.8%減少した。

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
盛岡駅西口	利用実人員(人)	4	3	2	7	3	6	6	4	5	7	6	4	
	利用延べ人員(人)	4	5	3	8	14	15	10	9	10	12	4	6	100
月が丘	利用実人員(人)	7	5	8	3	3	3	1	2	1	2	2	2	
	利用延べ人員(人)	13	7	4	4	3	3	1	2	1	2	2	2	44

(3) 通所介護・通所型サービス事業

113,958千円

盛岡駅西口老人デイサービスセンターは、桜城地域及び東厨川地域・西厨川の一部を主なエリアとし、また、月が丘老人デイサービスセンターは、青山地域及びみたけ北厨川地域における在宅福祉活動の拠点として、在宅の要介護高齢者に対して通所による介護サービスを提供し、心身機能の維持向上、自立生活の助長を図りながら、その家族の身体的、精神的な負担軽減を図った。

また、介護予防・日常生活支援総合事業として通所型サービスを併せて実施し、要介護状態や寝たきりにならないよう、また生活機能の維持向上のための介護予防サービスの提供をおこなった。

なお、養護老人ホーム清和荘（社会福祉法人小原慶福会）より受託している特定施設入所者生活介護の通所介護事業には延べ210名に対してサービスを実施した。

両事業所を合わせた利用延べ人員は、令和5年度と比較して、14.4%増加した。

① 盛岡駅西口老人デイサービスセンター

- ・所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目2番2号
- ・職員配置 所長1名、生活相談員2名、看護職員1名、介護職員8名、運転手5名、調理員2名
- ・営業日及び時間 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分（サービス提供9時30分～15時50分）
- ・主なサービス 健康チェック、入浴サービス、給食サービス、送迎サービス、生活指導助言、日常生活動作訓練等

○通所介護・通所型サービス事業実績

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営 業 日 数		26	27	25	27	27	25	27	26	26	27	24	26	313
利 用 実 人 員		46	48	48	57	55	60	59	59	60	59	59	61	6,300
利用延べ人員		462	490	446	524	558	554	552	552	547	541	487	587	
実 績	通所	462	490	446	524	558	554	552	552	547	541	487	587	6,300
	入浴	447	464	427	495	510	506	510	513	514	513	443	561	5,903
	給食	462	485	442	512	537	537	533	543	543	537	484	583	6,198
介 護 状 態 別 延 人 員 (人)	事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援1	17	15	10	13	18	21	26	19	23	22	18	23	225
	要支援2	37	36	36	44	39	38	36	50	46	42	33	42	479
	要介護1	137	136	124	156	177	174	183	174	160	160	138	170	1,889
	要介護2	107	107	104	112	117	106	110	117	120	123	124	169	1,416
	要介護3	119	155	139	129	124	139	131	105	93	93	75	85	1,387
	要介護4	27	27	29	24	28	24	20	24	43	44	46	40	376
	要介護5	18	14	4	46	55	52	46	63	62	57	53	58	528

(注) 特定施設入所者生活介護通所介護事業(清和荘委託事業)を含む

○特定施設入所者生活介護通所介護事業実績(清和荘委託事業)【再掲】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人員(人)	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	
利用延べ人員(人)	31	30	30	31	32	22	15	16	16	16	12	9	260

② 月が丘老人デイサービスセンター

- ・所在地 盛岡市月が丘三丁目7番5号
- ・職員配置 所長1名、生活相談員1名、看護職員1名、介護職員15名、運転手4名、調理員2名
- ・営業日及び時間 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分(サービス提供 9時30分～15時50分)
- ・主なサービス 健康チェック、入浴サービス、給食サービス、送迎サービス、生活指導助言、日常生活動作訓練等

○通所介護・通所型サービス事業実績

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数 (日)		26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308
利用実人員 (人)		78	77	78	75	77	78	75	76	77	79	84	85	
利用延べ人員(人)		628	661	593	634	600	610	632	604	559	566	607	618	7,312
実績	通所	628	661	593	634	600	610	632	604	559	566	607	618	7,312
	入浴	547	573	496	532	512	523	538	468	474	490	513	513	6,179
	給食	623	656	593	634	600	610	632	604	559	566	607	618	7,302
介護状態別延人員(人)	事業対象者	3	5	4	5	3	0	0	0	0	0	0	0	20
	要支援1	20	23	23	27	25	23	27	25	23	29	33	25	303
	要支援2	65	71	72	67	62	78	86	78	75	86	90	101	931
	要介護1	163	173	154	157	151	147	147	144	143	137	142	151	1,809
	要介護2	230	248	192	217	210	212	224	214	204	205	206	219	2,581
	要介護3	92	82	72	81	79	86	99	100	78	62	79	75	985
	要介護4	37	35	47	51	46	37	28	28	26	39	49	39	462
	要介護5	18	24	20	21	15	20	21	15	10	8	8	8	188

(4) 利用者負担軽減実施（地域における公益的な取組）

低所得のうち特に生活が困窮している介護保険サービス利用者への社会的支援のため、法人として盛岡市が行う利用者負担額軽減制度を実施した。制度の周知及び申請手続きの援助を行い対象となる利用者に対して介護費負担の25%を軽減した。

令和5年度と比較して、対象延べ人員数は20%減少、軽減負担額は36.3%減少した。

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	対象延べ人員(人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	軽減実施額(円)	869	703	704	877	704	877	704	709	704	704	530	877	8,962
訪問介護	対象延べ人員(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	軽減実施額(円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 障がい福祉サービス

(1) 居宅介護（ホームヘルプ）

1,814千円

障害者総合支援法の障がい者自立支援給付である「居宅介護（ホームヘルプ）」の提供事業所として、障がい者が居宅において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ、食事等の介護サービスや調理、洗濯、掃除等の家事サービスを提供するとともに、生活等に関する相談、助言その他の生活全般にわたる援助を行った。両事業所を合わせた利用延べ人員は、令和5年度と比較して20.4%減少した。

① 盛岡駅西口指定居宅介護事業所（盛岡駅西口ヘルパーステーション併設）

② 月が丘指定居宅介護事業所（月が丘ヘルパーステーション併設）

○事業実績

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
盛岡駅西口	利用実人員(人)	6	6	6	6	7	7	7	8	9	10	10	11	
	利用延べ人員(人)	44	50	37	44	58	58	60	63	69	73	73	78	707
月が丘	利用実人員(人)	9	9	9	9	9	9	9	9	7	5	6	6	
	利用延べ人員(人)	69	70	67	74	65	68	71	66	49	24	21	30	674

3 地域生活の支援

(1) 日常生活用具の貸与事業

100千円

在宅で生活する寝たきり高齢者、身体障がい者、歩行困難者で介護保険サービスを利用できない方に対して、無料で車いす、特殊寝台等の貸し出しをおこなった。延べ貸与件数は、令和5年度と同じであった。

○貸与状況

（保有台数：令和7年3月31日現在）

種類	保有台数	延べ貸与件数	主な申請事由
特殊寝台	25	15	自宅療養、一時帰宅等
マット(エアマット含む)	24	17	自宅療養、一時帰宅等
車いす	102	211	自宅療養、通院、外出、一時帰宅、研修等
電動車いす	4	0	
歩行器	1	4	自宅療養等
合 計	156	247	

(2) 寝たきり高齢者等紙おむつ支給（盛岡市委託事業）

10,247 千円

市民税非課税の在宅の寝たきり高齢者等の世帯に対して紙おむつを支給することにより、介護者の負担軽減及び当該高齢者の福祉増進を図った。延べ対象者数は、令和6年10月から生活保護受給者が対象外となったことから、令和5年度と比較して31.3%減少した。

○支給実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対象者数(人)	522	512	502	491	488	481	272	260	260	258	249	249	4,544
支給枚数(枚)	25,225	24,130	23,725	23,770	23,615	22,805	13,890	13,770	12,720	12,445	12,460	12,550	221,105
内 訳	尿取りパッド	12,900	11,925	12,050	12,040	12,255	12,050	7,920	8,000	6,580	6,305	6,620	115,370
	フラット型	1,335	1,365	1,065	1,350	1,050	525	510	690	780	750	750	10,815
	テープ止めM	2,980	3,040	3,060	2,920	2,920	2,780	1,300	1,260	1,480	1,600	1,540	26,400
	テープ止めL	720	720	700	660	620	640	440	440	460	360	300	6,360
	はくタイプM	3,490	3,350	3,350	3,380	3,320	3,420	1,950	1,840	1,870	1,870	1,690	31,230
	はくタイプL	3,800	3,730	3,500	3,420	3,450	3,390	1,770	1,540	1,550	1,560	1,660	30,930

(3) 高齢者世話付住宅援助員の派遣事業（盛岡市委託事業）

1,849 千円

ひとり暮らし高齢者等の生活特性に配慮した住宅（高齢者世話付住宅）に生活援助員（ライフサポートアドバイザー）を派遣し、高齢者が自立して安全に快適な生活を営むことができるよう生活の指導、相談等を行うとともに、24時間体制で緊急時や安否の確認などの援助サービスを提供した。

- ・生活援助員派遣施設 盛岡市営月が丘アパート（盛岡市月が丘三丁目8番） 26世帯
1号館（5世帯）、2号館（7世帯）、3号館（8世帯）、4号館（6世帯）
- ・支援内容 緊急時の対応、安否の確認、生活の指導及び相談、関係機関等の連絡

○事業実績

内容	生活指導 相談	安否確認	緊急時 対応	間違い 押し	関係機関 との連絡	原因不明 発報	その他	合計
延べ件数	17	1,224	10	6	16	8	45	1,326
上記件数のうち 夜間・休日対応件数	0	0	9	5	0	4	0	18

(4) いきいき高齢者通所支援事業（玉山地域）（盛岡市委託事業）

1,548 千円

比較的元気で家に閉じこもりがちな高齢者に対して、サテライト型通所の方法で、高齢者の生きがいづくり、社会的孤立感の解消等により身体機能の維持向上に努めた。

感染症対策などの理由から、薮川地区を除く7地区は毎月3回、薮川地区は2回事業を実施し、開催場所については薮川地区を除き、玉山総合福祉センターで実施した。令和5年度と比較して登録者数、延べ利用者数ともにほぼ変わらなかった。

○事業実績

(登録者：令和7年 3月31日現在)

曜日	場所	登録者数	年間延べ利用者数(人)
月曜日（舟田地区）	玉山総合福祉センター	9	254
月曜日（姫神地区）	玉山総合福祉センター	5	131
火曜日（玉山地区）	玉山総合福祉センター	8	234
火曜日（生出・好摩地区）	玉山総合福祉センター	8	239
水曜日（城内地区）	玉山総合福祉センター	5	170
木曜日（渋民地区）	玉山総合福祉センター	11	312
金曜日（巻堀・芋田地区）	玉山総合福祉センター	8	226
水曜日（薮川・外山地区）	岩洞活性化センター	10	153
合 計		64	1,719

※利用料：1回当たり100円の負担（おやつ代に充当）

4 地域包括支援センター（盛岡市委託事業）

81,371 千円

盛岡市から盛岡駅西口地域包括支援センター及びみたけ・北厨川地域包括支援センター事業を受託し、介護予防から介護保険の介護サービスに加えて、地域の保健・福祉・医療サービスなど高齢者の状況の変化に応じた支援を提供する総合的な相談支援の拠点として高齢者とその家族の福祉向上を図った。

また、盛岡市が行う介護予防・日常生活支援総合事業の対象者へ介護予防ケアマネジメントを併せて実施した。事業の内容は次のとおり。

・総合相談支援事業

できるかぎり地域の中で自立した日常生活が継続できるよう、高齢者やその家族などからの様々な相談に応じ、その支援対応に当たった。

・介護予防支援事業

要支援1・2と判定された高齢者等に対して、要介護状態へ移行することを防止するための介護予防サービス計画の作成を行った。

・介護予防ケアマネジメント実施

高齢者の介護予防と自立支援の視点を踏まえ、心身の状況、その置かれている環境等の状況に応じて、本人の意欲や能力を引き出せるように専門的視点から支援した。

また、基本チェックリストによる事業対象者に対しては、介護予防サービス計画の作成をおこなった。

・権利擁護事業

高齢者が地域で安心して生活できるよう成年後見制度の紹介や虐待の早期発見、消費者被害等に関する相談に対応した。

・包括的・継続的支援事業

介護に携わるケアマネジャーや医療・関係機関との連携を図り、地域資源のネットワークづくりに取り組んだ。

・生活支援体制整備事業（第2層）

社会資源リストの作成、関係機関とのネットワークづくりおよび地域への事業周知を行い、具体的な生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に取り組んだ。併せて、認知症地域推進業務として、認知症高齢者やその家族からの相談対応をおこなった。

(1) 盛岡駅西口地域包括支援センター

盛岡駅西口地域包括支援センターは、河北Ⅰ地区（桜城・西厨川地区）を担当圏域に総合的な相談支援等を行った。令和5年度と比較して、実相談者数は54.6%増加、相談件数は41.0%増加し、介護予防サービス計画作成及びケアマネジメント実施件数は1.9%減少した。

- ・所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目2番2号
- ・電話番号 019-606-3361
- ・職員配置 所長1名、管理者(主任介護支援専門員)1名、保健師1名、社会福祉士3名、介護予防支援員1名、第2層生活支援コーディネーター兼認知症地域支援推進員1名
- ・担当圏域 桜城・西厨川地区
- ・相談方法 電話、来所、希望により自宅を訪問し相談に対応
- ・営業日時 月曜日から土曜日 平日：9:00～19:00 土曜日：9:00～12:00
※休館日：日曜日、国民の祝日・休日、年末年始 営業時間外対応：電話により24時間常時受付

○事業実績

① 実相談者数 852名（うち訪問実数 503名）

② 相談方法別件数

電話	訪問	来所	文書	その他	合計
1,867	858	230	21	42	3,018

③ 相談者（経路）別件数

家族	本人	関係機関	民生委員	介護支援専門員	介護サービス事業所	行政関係	近隣知人等	合計
793	1,061	495	111	345	6	132	75	3,018

④ 相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
介護に関する相談	773	苦情に関すること	8
医療に関する相談	237	年金・保険に関する相談	1
介護保険に関する相談	1,192	財産（土地・住宅等）に関する相談	54
高齢者福祉サービスに関する相談	181	虐待・権利擁護に関する相談	111
健康づくりと保健事業に関する相談	3	成年後見制度に関する相談	152
施設入所に関する相談	225	消費者被害に関する相談	7
福祉用具に関する相談	73	困難事例に関する相談	427
住宅改修に関する相談	8	重層的支援体制整備事業に関する相談	9
諸制度に関する相談	4	その他の相談	381
状況把握（実態把握）	433	合 計	4,279

⑤ 月別相談件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電 話	128	143	129	125	210	129	174	148	163	160	193	165	1867
訪 問	15	26	11	28	23	14	21	17	16	22	17	20	230
来 所	36	29	33	41	44	33	175	104	134	86	74	69	858
文 書	0	1	0	3	1	4	1	3	3	0	3	2	21
その他	1	3	1	0	1	4	4	6	5	11	1	5	42
合 計	180	202	174	197	279	184	375	278	321	279	288	261	3018

⑥ 申請代行件数

代行サービス名	件数	代行サービス名	件数
生活支援型ヘルパー	0	緊急通報サービス	4
生きがい型デイサービス	0	配食サービス	5
生活支援型ショート	0	日常生活用具	0
住宅改造成	0	介護保険	117
施設入所	1	諸制度・諸手当	5
医療に関するサービス	0	その他	3
保健に関するサービス	0	合 計	135

⑦ 相談外活動回数

活動内容	回数
会議	154
研修	73
視察研修等・実習指導	37
ケース検討会	18
広報啓発活動	42
その他	17
合 計	341

⑧ 介護予防サービス計画作成件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防サービス計画作成件数 (件)	113	116	114	118	119	123	121	119	126	126	126	130	1,451
内訳	自機関	36	37	36	41	40	41	38	37	41	41	42	471
	委託	77	79	78	77	79	82	83	82	85	85	88	980

⑨ 介護予防ケアマネジメント実施件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアマネジメント実施件数(件)	83	83	89	83	81	87	91	92	95	100	95	97	1,076
内 訳	自機関	38	37	40	40	38	42	44	45	46	48	45	510
	委託	45	46	49	43	43	45	47	47	49	52	50	566

(2) みたけ・北厨川地域包括支援センター

みたけ・北厨川地域包括支援センターは、みたけ・北厨川地区を担当圏域に総合的な相談支援等を行った。令和5年度と比較して、実相談者数は17.4%増加、相談件数は1.1%増加し、介護予防サービス計画作成及びケアマネジメント実施件数は2.9%増加した。

- ・所在地 盛岡市月が丘三丁目7番5号
- ・電話番号 019-648-8834
- ・職員配置 所長1名、管理者(社会福祉士)1名、主任介護支援専門員1人、保健師1名、社会福祉士1名、介護予防支援員1名、第2層生活支援コーディネーター兼認知症地域支援推進員1名
- ・担当圏域 みたけ・北厨川地区
- ・相談方法 電話、来所、希望により自宅を訪問し相談に対応
- ・営業日時 月曜日から土曜日 平日：9:00～19:00 土曜日：9:00～12:00
※休館日：日曜日、国民の祝日・休日、年末年始 営業時間外対応：電話により24時間常時受付
- ・利用料 無料

○事業実績

センターの窓口のほか、担当圏域内に3箇所の出張相談所を開設し、より身近な窓口として介護、生活に関わる相談に対応した。

出張相談室	会場及び開催日	相談件数等
みたけサテライト相談室	みたけ老人福祉センター（みたけ3丁目13-23） 4月、7月、10月、1月 第4木曜日 9:30～11:30	4回開催 6件
谷地頭サテライト相談室	谷地頭集会所（厨川5丁目14） 6月、9月、12月、3月 第4木曜日 14:00～16:00	4回開催 12件
厨川2丁目サテライト相談室	北厨川住宅集会所（厨川2丁目21-28） 5月、8月、11月、2月 第3木曜日 14:00～16:00	4回開催 3件

① 実相談者数 525名（うち訪問実数 377名）

② 相談方法別件数

電話	訪問	来所	文書	その他	合計
729	653	135	5	14	1,536

③ 相談者（経路）別件数

家族	本人	関係機関	民生委員	介護支援専門員	介護サービス事業所	行政関係	近隣知人等	合計
303	664	187	94	171	6	61	50	1,536

④ 相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
介護に関する相談	686	苦情に関する事	2
医療に関する相談	49	年金・保険に関する相談	3
介護保険に関する相談	747	財産（土地・住宅等）に関する相談	53
高齢者福祉サービスに関する相談	136	虐待・権利擁護に関する相談	64
健康づくりと保健事業に関する相談	2	成年後見制度に関する相談	42
施設入所に関する相談	97	消費者被害に関する相談	4
福祉用具に関する相談	63	困難事例に関する相談	125
住宅改修に関する相談	16	重層的支援体制整備事業に関する相談	0
諸制度に関する相談	12	その他の相談	45
状況把握（実態把握）	921	合 計	3,067

⑤ 月別相談件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電 話	69	78	51	66	37	62	63	54	45	59	72	73	729
訪 問	40	58	23	52	58	51	61	75	92	45	36	62	653
来 所	10	14	8	11	12	5	22	12	7	12	10	12	135
文 書	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5
その他	1	0	0	2	0	3	1	0	0	4	3	0	14
合 計	122	150	83	131	107	121	147	141	144	121	121	148	1,536

⑥ 申請代行件数

代行サービス名	件数	代行サービス名	件数
生活支援型ヘルパー	0	緊急通報サービス	5
生きがい 対応型デイサービス	0	配食サービス	5
生活支援型ショート	0	日常生活用具	0
住宅改修助成	0	介護保険	73
施設入所	1	諸制度・諸手当	3
医療に関するサービス	0	その他	6
保健に関するサービス	0	合 計	93

⑦ 相談外活動回数

活動内容	回数
会議	85
研修	34
視察研修等・実習指導	8
ケース検討会	7
広報啓発活動	30
その他	16
合 計	180

⑧ 介護予防サービス計画作成件数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防サービス計画作成件数 (件)		54	55	52	53	52	58	55	52	54	54	53	57	649
内訳	自機関	31	32	30	29	29	33	31	31	33	32	32	35	378
	委託	23	23	22	24	23	25	24	21	21	22	21	22	271

⑨ 介護予防ケアマネジメント実施件数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアマネジメント実施件数 (件)		51	52	53	49	49	46	45	43	43	40	47	46	564
内訳	自機関	31	33	32	32	34	30	30	29	29	26	31	30	367
	委託	20	19	21	17	15	16	15	14	14	14	16	16	197

5 外出の支援

(1) おでかけ送迎サービス事業

2,993 千円

一般の交通手段での外出が困難な方の通院、リハビリ、社会参加等のための移動手段として、送迎ボランティアの協力により、車いすやストレッチャーで乗降可能な車両を運行した。実利用者数は 64 名で、延べ利用者数は令和 5 年度と比較して 2.5%増加の 526 名となった。(障がい利用者への対応部分は、一部盛岡市委託事業)

車両については、運行の都度、車内を消毒液による除菌を行い、感染防止を徹底して事業を実施した。

- ① 実利用者数 64 名 (障がい者：41 名、要介護者：23 名)
- ② 利用延べ件数 526 件
- ③ 送迎ボランティア実稼働数 14 名 (若園：11 名 玉山：3 名)
- ④ 使用車両
 - ・リフト付き福祉車両 2 台、スロープ付き軽福祉車両 1 台 (市総合福祉センター配備)
 - ・リフト付き福祉車両 1 台 (玉山総合福祉センター配備)
- ⑤ 利用料 無料

○利用実績

区分	性別			年齢別						使用機器別			
	男性	女性	計	20歳未満	20歳以上 40歳未満	40歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上 80歳未満	80歳以上	社協車いす	本人車いす	ストレッチャー	その他
実利用者数 (人)	31	33	64	1	6	12	7	22	16	15	49	0	0
延べ利用者数 (人)	230	296	526	2	29	138	44	214	99	180	346	0	0

※その他：ベビーカー等

(2) 「ぷらっと^{きやぶ}cab」の貸出し (車いす同乗福祉自動車貸出事業)

229 千円

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者の方が通院、買物、冠婚葬祭、行楽等の外出をする際の支援を行うため、車いす同乗福祉自動車を無料で貸し出しをおこなった。令和 5 年度と比較して、実利用者は 11.7%の増加、延べ利用者は 27.5%の減少となった。

① 利用実人員 19 名 (男性 4 名・女性 15 名)

(内訳)

性別			年齢別						障がい等別		
男性	女性	合計	20 歳未満	20～40 歳	40～60 歳	60～70 歳	70～80 歳	80 歳以上	要介護者	障がい者	外科患者等
4	15	19	0	0	1	0	4	11	18	1	0

② 利用延べ件数 50 件 (男性 6 件・女性 44 件) ※延べ利用日数 70 日

③ 平均運行距離 47.64 km (1 利用当たりの平均走行距離)

④ 利用料 無料 (但しガソリン、その他私的経費は自己負担)

○利用実績

性別			行先別						利用内容別					
男性	女性	合計	市内	矢巾町	雫石町	滝沢市	釜石市	県外	通院	退院	入所	一時帰宅	行楽	その他
6	44	50	39	6	3	1	1	0	37	0	0	5	5	3

※利用内容別「その他」：美容院、墓参、法事等

第 6 災害への救援活動

1 「令和 6 年能登半島地震」に係る支援活動

令和 6 年 1 月 1 日に発生した石川県能登地方を震源とする地震被害への現地災害ボランティアセンターの支援について、岩手県社会福祉協議会の依頼を受け職員派遣を実施した。

- (1) 派遣先 志賀町災害ボランティアセンター (志賀町文化ホール 石川県志賀町高浜町カの 1 の 1)
- (2) 派遣職員 地域福祉課 2 名、在宅福祉課 1 名
- (3) 派遣期間
 - ・令和 6 年 4 月 5 日(金)～4 月 11 日(木) (6 泊 7 日)
 - ・令和 6 年 5 月 11 日(土)～5 月 17 日(金) (6 泊 7 日)
 - ・令和 6 年 6 月 24 日(月)～6 月 30 日(日) (6 泊 7 日)
- (4) 業務内容 要配慮世帯ニーズ調査、ボランティア活動現地調査等

2 「酒田市大雨災害」に係る支援活動

令和 6 年 7 月 25 日に発生した線状降水帯による大雨災害発生に伴い、岩手県社会福祉協議会の依頼により職員を派遣し、酒田市災害ボランティアセンターの運営を支援した。

- (1) 派遣先 酒田市災害ボランティアセンター (山形県酒田市飛鳥字契約場 35 番地)
- (2) 派遣職員 地域福祉課 2 名
- (3) 派遣期間
 - ・令和 6 年 8 月 11 日(日)～8 月 15 日(木) (4 泊 5 日)
 - ・令和 6 年 8 月 14 日(金)～8 月 18 日(木) (4 泊 5 日)
- (4) 業務内容 ボランティア派遣業務等

3 「盛岡市大雨災害」に係る支援活動

令和 6 年 8 月 27 日に発生した線状降水帯による大雨災害発生に伴い、災害ボランティアセンターを設置し被災世帯への支援活動をおこなった。

- (1) 設置期間 令和 6 年 8 月 29 日(木)～12 月 16 日(月)
- (2) 支援地域 上米内、川目、東山
- (3) 業務内容 被災世帯のニーズ調査、ボランティア募集、ボランティア派遣等

第7 福祉活動情報の発信

1 社会福祉大会の開催

965 千円

社会福祉功労者の表彰と市民の福祉活動への理解と参加を促進するため、盛岡市と共催で開催した。

- (1) 名 称 第63回盛岡市社会福祉大会
- (2) 日 時 令和6年10月25日 午後1時～午後4時
- (3) 会 場 盛岡市民文化ホール 大ホール（盛岡市盛岡駅西通2丁目9-1）
- (4) 参加者 受賞者及び家族等、福祉関係者、市民等 約550名
- (5) 内 容
 - ① 社会福祉関係物故者及び東日本大震災並びに様々な災害により亡くなられた方々に対する黙祷
 - ② 福祉作文・標語最優秀者表彰

福祉作文	小学校部門	1名
福祉作文	中学校部門	1名
福祉標語	小学校部門（低学年・高学年） 各部門	1名
福祉標語	中学校部門	1名
 - ③ 表 彰

盛岡市長感謝状（民生児童委員・主任児童委員 11年以上）	5名
社会福祉協議会会長表彰（民生児童委員・主任児童委員 15年以上）	3名
〃（社会福祉法人、社会福祉施設等の役職員）	87名
〃（社会奉仕、ボランティア活動に功績顕著な個人）	5名
社会福祉協議会会長褒賞（永年にわたり在宅要援護者の介護に携わり他の模範となる者）	4名
岩手県共同募金会会長感謝状（共同募金運動推進団体・個人）	5団体
 - ④ 大会宣言採択
 - ⑤ 記念講演

演 題	「異彩を、放て。」
講 師	松田 文登 氏（株式会社ヘラルボニー 代表取締役 Co-CEO）

2 社会福祉協議会会報「福祉もりおか」の発行

3,171 千円

社会福祉協議会活動の周知と地域福祉に関する情報提供を行うため会報を発行し、民生児童委員、町内会・自治会の協力により、市民全世帯に配布した。

- (1) 印刷サイズ タブロイド版（273mm×382mm）
- (2) 発行部数 1回につき115,000部（全戸配布）
- 発行実績

号	発行日	主な内容
216	6月15日	会長就任挨拶、令和6年度事業計画概要・予算、シルバーメイト事業案内、いわておげんき見守りシステム事業案内、日常生活自立支援事業案内、生活福祉資金貸付事業案内、令和5年度歳末たすけあい運動実績報告、おでかけ送迎サービス案内、ぷらっと cab 貸出案内、紙おむつ支給事業案内、居場所づくり紹介・募集、特別賛助会員報告
217	9月15日	赤い羽根共同募金 PR、第63回盛岡市社会福祉大会案内、令和5年度事業・決算報告、社協世帯会費納入依頼、令和6年能登半島地震災害ボランティアセンター運営支援報告、赤い羽根共同募金「みんなの福祉を応援事業」募集、生活福祉資金教育支援資金案内

218	12月15日	福祉大会表彰者報告、福祉除雪案内、歳末たすけあい運動PR、福祉作文・福祉標語最優秀作品紹介、Book & Bookenergy in Morioka 紹介、8月27日豪雨災害に伴う災害ボランティア活動報告、杜陵地区防災ウォーク開催報告、社協特別賛助会員報告
219	3月15日	地域づくり事業・居場所特集、ボランティア活動保険案内、Book & Bookenergy in Morioka 紹介、まるごとよりそいネットワークもりおか紹介、社協特別賛助会員報告、地区福祉推進会事業紹介、民生委員・児童委員紹介、寄贈・寄付者報告

3 インターネットを利用した情報発信

275千円

社会福祉協議会の事業や活動、ボランティア活動等に関する情報をインターネット上に公開して市民に参加を促すとともに、各種サービスの申請書等をホームページに掲載し、利用者の便宜を図った。

(1) 公開アドレス (URL) <https://www.morioka-shakyo.or.jp/>

(2) 内容 (目次) 各種相談、交通案内・地図、社会福祉協議会について、事業案内、赤い羽根共同募金、広報誌「福祉もりおか」、各種申請書、高齢者に関すること、子どもに関すること、障がい児者に関すること、地域活動・ボランティアに関すること、経済的な支援に関すること、暮らしの悩み相談に関すること、災害時の支援に関すること、共同募金に関すること、新着情報、トピックス

(3) 総アクセス回数 95,674回

第8 総合福祉センターの管理運営

18,563千円

令和5年度より引き続き、換気の励行や手指消毒薬の設置、貸出用マイクの消毒等の感染症対策を継続し、安心かつ安全に利用いただけるよう環境整備に努めた。また、電力供給業者の見直しをしたことにより、電力費用を削減することができた。

利用実績について、令和5年度と比較して、盛岡市総合福祉センターでは、利用件数が0.2%増加し、利用者数においても4.7%の増加となった。また、玉山総合福祉センターでは、利用件数が3.2%減少し、利用者数においても9.3%の減少となった。

1 利用実績

(1) 盛岡市総合福祉センター(盛岡市若園町2番2号) 【年間利用件数 2,569件 利用者数 52,541人】

階	種別	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
1F	レクリエーション室 兼催事場	件	25	25	26	28	28	28	29	30	19	16	18	31	303	25
		人	606	490	468	583	384	563	162	526	555	333	383	486	5,539	462
2F	ボランティアルーム	件	36	38	36	49	39	38	39	36	24	26	28	35	424	35
		人	442	500	504	649	488	632	540	378	266	302	340	376	5,417	451
3F	講習室兼会議室	件	37	32	34	32	22	37	35	28	26	21	33	34	371	31
		人	430	430	416	381	219	490	448	472	342	331	349	617	4,925	410
	小会議室	件	34	29	32	28	34	30	30	32	22	23	28	32	354	30
		人	266	234	275	317	320	209	248	400	190	190	226	240	3,115	260
	保育室	件	22	16	16	14	11	14	26	20	22	19	21	21	222	19
		人	70	61	34	40	24	34	56	43	46	54	44	44	550	46
	老人教養室	件	11	5	10	6	14	17	11	7	8	7	10	10	116	10
		人	71	48	94	99	233	175	137	90	137	138	109	85	1,416	118
	図書室	件	14	18	13	13	14	14	14	10	11	10	14	15	160	13
		人	154	186	137	126	133	145	144	102	108	106	132	148	1,621	135
	子供会研修室	件	26	31	28	19	24	28	33	22	17	14	23	22	287	24
		人	650	976	658	535	593	632	867	670	588	380	531	544	7,624	635

4F	講堂	件	26	32	28	37	25	35	31	42	15	23	16	22	332	28
		人	1,788	1,943	1,767	2,310	1,662	2,108	2,802	2,435	1,097	1,809	1,280	1,333	22,334	1,861
	合 計	件	231	226	223	226	211	241	248	227	164	159	191	222	2,569	214
		人	4,477	4,868	4,353	5,040	4,056	4,988	5,404	5,116	3,329	3,643	3,394	3,873	52,541	4,378

(2) 盛岡市玉山総合福祉センター(盛岡市浜民字泉田 360) 【年間利用件数 808 件 利用者数 13,969 人】

階	種別	単	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
1F	センターホール	件	3	9	8	5	12	5	10	6	8	9	5	7	87	7
		人	117	103	83	51	467	55	885	287	104	111	67	98	2,428	202
	栄養指導室	件	0	1	6	2	3	1	5	3	0	0	0	2	23	2
		人	0	1	13	2	150	1	278	249	0	0	0	19	713	59
	集会室	件	13	16	17	16	16	17	14	12	16	12	16	15	180	15
		人	166	177	186	172	406	146	387	364	162	131	151	175	2,623	219
	ボランティアルーム	件	7	4	4	6	3	3	3	3	3	5	3	4	48	4
		人	107	36	28	45	41	36	40	32	7	38	38	43	491	41
	母子教養室	件	3	4	3	5	5	3	6	6	3	3	5	2	48	4
		人	54	57	45	90	330	52	330	295	46	42	73	40	1,454	121
	リハビリルーム	件	3	3	3	4	6	7	6	6	3	3	6	7	57	5
		人	54	51	45	59	202	68	330	295	46	42	77	100	1,369	114
	相談室	件	2	4	2	4	3	3	4	2	2	2	2	6	36	3
		人	39	39	24	40	172	38	219	31	32	30	37	87	788	66
2F	研修室(1)・(2)	件	17	15	12	15	11	11	17	9	15	15	15	18	170	14
		人	208	192	142	173	180	142	254	79	179	184	158	240	2,131	178
	教養室(1)・(2)	件	10	7	8	10	12	10	11	5	10	10	10	12	115	10
		人	119	81	102	126	190	139	209	52	121	111	114	150	1,514	126
	健康相談室・茶室	件	5	4	3	3	1	0	6	2	5	4	5	4	42	4
		人	44	33	26	25	3	0	134	18	40	36	44	36	439	37
	遊戯室	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	図書室	件	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0
		人	0	0	0	0	15	0	0	0	0	4	0	0	19	2
	作業室	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	件	63	67	66	70	73	60	82	54	65	64	67	77	808	67
		人	908	770	694	783	2,156	677	3,066	1,702	737	729	759	988	13,969	1,164

2 団体別利用件数

(1) 盛岡市総合福祉センター

区分		件数	割合
福祉団体	一般	727	28.3%
	障がい者	238	9.3%
	ボランティア	476	18.5%
	児童	199	7.8%
	高齢者	101	3.9%
	女性	357	13.9%
	小 計	2,098	81.7%

(2) 盛岡市玉山総合福祉センター

区分		件数	割合
福祉団体	一般	351	43.5%
	障がい者	0	0.0%
	ボランティア	0	0.0%
	児童	51	6.3%
	高齢者	14	1.7%
	女性	0	0.0%
	小 計	416	51.5%

行 政	盛岡市 (福祉)	107	4.2%
	盛岡市 (一般)	193	7.5%
	岩手県 (福祉)	1	0.0%
	岩手県 (一般)	1	0.0%
	小 計	302	11.7%
一 般 (有料)		169	6.6%
そ の 他		0	0.0%
合 計		2,569	100%

行 政	盛岡市 (福祉)	325	40.2%
	盛岡市 (一般)	34	4.2%
	岩手県 (福祉)	0	0.0%
	岩手県 (一般)	0	0.0%
	小 計	359	44.4%
一 般 (有料)		18	2.2%
そ の 他		15	1.9%
合 計		808	100%

第9 職員の育成

1 内部研修

実施年月日	研修名	内容	対象	人数
令和6年4月4日	新任等職員研修	・社会福祉協議会の仕組み ・社会福祉協議会の事業 ・衛生管理活動	採用後3年程度までの一般・嘱託職員等	9名
9月24日	中堅(Ⅰ)職員研修	・クレームへの対応	採用後3年以上8年未満の一般・嘱託職員	20名
11月22日	管理職員及び指導的職員研修	・コンプライアンス ・ハラスメント	管理職員及び指導的職員	13名

2 主な外部研修 (オンライン研修を除く)

主催	実施年月日	研修名	人数
全国社会福祉協議会	令和6年8月1日～3日	社会福祉法人会計実務講座入門コース(中央福祉学院)	2名
	令和6年9月20日～21日	社会福祉法人会計実務講座初級コース(中央福祉学院)	1名
	令和6年10月17日～19日	〃	1名
	令和6年12月1日～3日	社協管理職員研修会(中央福祉学院)	1名
岩手県社会福祉協議会 (市町村社会福祉協議会部会) (社会福祉法人経営者協議会)	令和6年4月23日	日常生活自立支援事業新任専門員研修	2名
	令和6年4月25日	市町村社協部会新任職員研修	4名
	令和6年5月24日	日常生活自立支援事業新任生活支援員研修	3名
	令和6年5月30日	市町村社協職員災害対応初動チーム員研修	1名
	令和6年5月30日	生活福祉資金貸付事業新任職員研修	1名
	令和6年6月20日～21日	生活福祉資金貸付事業現任職員研修	5名
	令和6年8月26日～29日	コミュニティソーシャルワーカー養成研修(一関市)	1名
	令和6年10月22日	経営強化のための福祉サービス担当者情報交換研修会	1名
	令和6年12月3日	日常生活自立支援事業専門員・生活支援員研修	5名
	令和6年12月20日	生活困窮者支援研究会	1名
	令和7年2月1日	災害ボランティア研修会	1名
	令和7年3月12日	生活福祉資金貸付事業事務説明会	1名
岩手県共同募金会	令和6年7月18日	共同募金会計システム研修会(ふれあいランド岩手)	1名

	令和6年7月26日 令和6年12月10日	市町村共同募金委員会第1回職員研修会 市町村共同募金委員会研修会(ふれあいランド岩手)	1名 1名
県央地区社協連絡協議会	令和6年8月1日 令和6年8月30日 令和6年9月12日～13日	職員研修(滝沢市) 災害VC設置・運営に係る研修訓練(葛巻町) 先進地視察研修(福島県須賀川市)	2名 3名 2名
全国等	令和6年6月22日～23日 令和6年9月7日～8日 令和6年9月8日 令和6年11月11日～12日	日本ケアマネジメント学会研究大会(神奈川県) ボランティア全国フォーラム2024(宮城県) 認知症ケア学会東北大会(宮城県) 地域包括・在宅介護支援センター研究大会(栃木県)	1名 1名 1名 1名
岩手県等	令和6年5月20日～21日 令和6年6月6日 令和6年6月25日～26日 令和6年7月5日 令和6年7月18日～19日 令和6年7月24日 令和6年7月31日 令和6年8月1日 令和6年8月24日 令和6年8月27日～29日 令和6年8月28日 令和6年8月29日 令和6年9月2日 令和6年9月6日 令和6年9月9日 令和6年9月19日 令和6年9月27日 令和6年9月30日 令和6年10月15日 令和6年10月22日～23日 令和6年11月5日 令和6年11月11日～12日 令和6年11月12日 令和6年11月14日～15日 令和6年11月23日 令和6年11月25日 令和6年12月6日 令和6年12月15日 令和7年1月23日	地域包括支援センター等職員初任者研修 地域ケア検討会 認知症地域支援推進員養成研修会 生活支援体制運営研修 地域包括支援センター等職員中堅研修 地域包括支援センター等職員総合相談支援研修 重層的支援体制整備事業研修会 地域包括支援センター職員職種別研修 精神保健福祉センターひきこもり公開講座 放課後児童支援員認定資格研修(前期)(雫石町) 生活支援コーディネーター養成研修会 高齢者権利擁護地域研修(一戸町) 認知症地域支援推進員活動促進研修会 高齢者健康・体力づくり指導者セミナー 生活支援コーディネーター現地研修(滝沢市) 地域ケア検討会 精神保健福祉基礎研修 高齢者権利擁護地域研修(大船渡市) ケアマネ支援センター巡回相談研修会 放課後児童支援員認定資格研修(後期)(雫石町) 認知症キャラバン・メイト養成研修 生活支援体制整備事業テーマ別研修会 ケアマネ支援センター巡回相談研修会 通所型短期集中予防サービス勉強会及び包括職員研修会 地域包括支援センター職員職種別研修 消費者見守り研修 生活困窮者自立支援事業 北海道・東北ブロック研修会 アドバンス・ケア・プランニングに関する県民公開講座 重層的支援体制の構築に向けた人材養成事業地域づくり実践研 修(紫波町)	4名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 3名 2名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 2名 3名 1名 1名 1名 1名 2名 1名 1名 1名 1名

	令和7年2月4日	「マーケティング入門」～提案する価値を考える～	1名
	令和7年2月6日	第2回災害ケースマネジメント推進研修会	1名
	令和7年2月22日	リハビリテーション専門職等連絡会	1名
	令和7年2月25日	認知症キャラバン・メイト養成研修	1名
	令和7年2月27日	社会福祉と動物愛護をつなぐ研修会	2名
	令和7年2月27日	北上市ひきこもり地域支援センター事業研修会(北上市)	1名
	令和7年3月6日	中央ブロック高齢者福祉協議会施設長研修	1名
	令和7年3月15日	林福連携事業盛岡広域研究会	1名
	令和7年3月22日	介護支援専門員協会第3回定例研修会	1名

第10 組織体制

1 評議員（定数：21～27名）

氏名	所属等	就任期間	摘要
中 村 一	盛岡市町内会連合会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
柳 村 隆 一	玉山地域自治会連絡協議会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
菊 地 陽 子	盛岡市民生児童委員連絡協議会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
玉 山 享 司	盛岡市老人クラブ連合会	令和6年6月12日～令和7年3月31日	
鎌田 まき子	盛岡市子ども会育成会連絡協議会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
柿 木 和 夫	盛岡市地区福祉推進会会長連絡会	令和6年4月1日～令和6年11月30日	退任
津志田 貞子	盛岡市身体障害者協議会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
長 葎 常 紀	盛岡市手をつなぐ育成会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
亀ヶ森 力	盛岡地区保護司会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
浅 沼 道 成	もりおかNPO連絡協議会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
遠藤 真喜男	盛岡市ボランティア連絡協議会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
豊 岡 勝 敏	盛岡市社会福祉事業団	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
雪ノ浦 昭子	盛岡市老人福祉施設連絡協議会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
高 橋 学	盛岡市保育所協議会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
水 野 匠	盛岡商工会議所	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
亀 田 静 江	盛岡市保健推進員協議会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
金 子 博 純	盛岡市医師会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
村 上 克 利	盛岡市歯科医師会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
岩 舘 智 子	盛岡市教育委員会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
吉 田 武 雄	盛岡市小学校長会	令和6年6月12日～令和7年3月31日	
小野寺 満	盛岡市中学校長会	令和6年6月12日～令和7年3月31日	退任
中 村 悟 史	盛岡市PTA連合会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
杉 田 博 信	盛岡市子ども未来部	令和6年4月1日～令和7年3月31日	退任
山 崎 剛	盛岡市保健福祉部	令和6年6月12日～令和7年3月31日	退任
平本 丈之亮	岩手弁護士会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
後藤 百合子	盛岡市議会	令和6年6月12日～令和7年3月31日	

2 理事・監事（定数：理事9～13人（内会長1名、副会長3名以内）、監事2～3名）

役職	氏名	所属等	就任期間	摘要
会 長	佐 藤 光 彦	学識経験者	令和6年4月1日～令和6年4月19日	死亡
	谷 藤 裕 明	学識経験者	令和6年5月1日～令和7年3月31日	
副会長	米田 ハツエ	盛岡市民生児童委員連絡協議会会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
	竹 田 孝 男	学識経験者	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
	小枝指 好夫	盛岡市町内会連合会会長	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
理 事	遠 藤 要	盛岡市老人福祉施設連絡協議会会	令和6年4月1日～令和7年3月31日	退任
	及 川 陸 男	盛岡市老人クラブ連合会会長	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
	柿 木 和 夫	盛岡市地区福祉推進会会長連絡会	令和6年12月23日～令和7年3月31日	
	高 橋 紀 夫	盛岡市地区福祉推進会会長連絡会	令和6年4月1日～令和6年5月30日	退任
	中 野 剛	玉山地域自治会連絡協議会会長	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
	三田地 宣子	学識経験者	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
	加 藤 彩 子	盛岡市保健福祉部長	令和6年5月1日～令和7年3月31日	
	山 屋 理 恵	インクルいわて理事長	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
常務理事	佐 藤 聡	盛岡市社会福祉協議会事務局長	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
監 事	齋 藤 みき子	司法書士	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
	下長根 正則	いきいき牧場元気丸施設長兼法人事務局長	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
	丹 代 一 志	税理士	令和6年4月1日～令和7年3月31日	

3 評議員選任・解任委員（外部委員3名、監事1名、事務局員1名）

区分	氏名	所属等	就任期間	摘要
外部委員	宮 城 好 郎	岩手県立大学名誉教授	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
	藤 原 真 人	盛岡市勤労者福祉センター専務理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
	藤 原 哲	岩手日報社常務取締役執行役員・総務局長	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
監 事	下長根 正則	盛岡市社会福祉協議会監事	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
事務局	千 葉 英 亨	盛岡市社会福祉協議会参事兼総務課長	令和6年4月1日～令和7年3月31日	

4 職員（総数 208 名）

所属・事業所等		職員数		
		正規職員	嘱託職員	非常勤職員
事務局		18	13	26
	事務局長・参事・総務課	5	2	5
	地域福祉課	4		
	生活支援課	5	9	21
	在宅福祉課	4	2	
玉山支所		4	3	3
盛岡駅西口介護サービス事業所			13	34
	老人デイサービスセンター		3	18
	ヘルパーステーション（指定居宅介護事業所）		5	16
	指定居宅介護支援事業所		5	
盛岡駅西口地域包括支援センター		5	2	
月が丘介護サービス事業所		2	11	34
	老人デイサービスセンター	1	4	19
	ヘルパーステーション（指定居宅介護事業所）		3	15
	指定居宅介護支援事業所	1	4	
みたけ・北厨川地域包括支援センター		4	2	
児童館		5	8	14
	巻堀児童館	1	2	3
	日戸児童館	1	1	2
	好摩児童館	1	2	3
	生出児童館		2	2
	渋民児童館	2	1	4
学童クラブ			2	5
	都南こどもの家		2	5
合 計		38 名	54 名	116 名

